

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

教育指導課

令和2年6月

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

目次

中学校

国語	・・・・・・・・	1
書写	・・・・・・・・	7
社会（地理的分野）	・・・・・・・・	13
社会（歴史的分野）	・・・・・・・・	19
社会（公民的分野）	・・・・・・・・	27
社会 地図	・・・・・・・・	35
数学	・・・・・・・・	39
理科	・・・・・・・・	47
音楽（一般）	・・・・・・・・	54
音楽（器楽）	・・・・・・・・	58
美術	・・・・・・・・	62
保健体育	・・・・・・・・	67
技術	・・・・・・・・	72
家庭	・・・・・・・・	76
英語	・・・・・・・・	81
道徳	・・・・・・・・	89

その教科書が適切である理由	
3.国語の観点	
①学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。 ②語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。 ③読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	・①それぞれの単元で、漫画を使った導入をすることで、活動に入りやすい。 ・②各単元で漢字やことばに関する学習内容がある。 ・③各学年に読書の単元があり、かつ各単元に読書案内がある。
2	1年最初の「話し方はどうかな」は時期的に一番よいのではないか。震災に関連した文章はわかりやすくよい。
3	・ふりがなが多く読みやすい。現代中学生の興味関心を引く内容の文章が多い。導入に漫画が描かれていて、どのような内容を学ぶのが最初に理解できるようにになっている。イラスト、レイアウトが工夫されている。指導要領の観点も、表にされておりどのようなことを学ぶのが一目でわかる。
4	・「話す・聞く」「書く」「言語」の教材にさりげなく色がつけられていて、何を学習しているのかわかりやすい。何を学ぶのが明確で、3年間系統立てて構成されている。
5	・教材が斬新で興味深く学ぶことができそうで、学習方法に関してもわかりやすい。
6	・整理・分析・議論のステップが取り組みやすい。
7	・学びの扉→教材(作品)→学びを支えることばの力の手順で学習を進めることができる。 特に、文学教材や説明的文章を学習する導入が、マンガで「どうなっているのだろうか?」と投げかけからスタートするので、作品に入りやすく、注目すべきところがわかりやすい。 ・1年生では、短い文章を多く読めるように教材が充実している。
8	・古典の資料が充実しているので、生徒にとっては理解しやすい。 ・取り扱っている作品が面白く、生徒の興味関心をひきやすい。
9	・「話す聞く」「書く」の単元の説明が丁寧かつ具体的で、生徒が取り組みやすいように作られている。導入に「学びの扉」があり、興味を持って学習に向かえるように工夫されている。 ・「学びを支える言葉」「広がる言葉」で語彙を豊かにするための学習ができる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・イラストが好まれそうなタッチである。また、漫画を使用することで親しみやすい。
2	・送り仮名の付け方など基礎知識として必要な内容がある。本校の生徒に必要なものだろう。
3	・Dマークを付した教材で、デジタルコンテンツの用意がしてある(ICT教育)
4	・学習方法がイラストやマンガでわかりやすく説明しており、学習意欲を高めることが予想される。
5	・「読む」ことに苦手意識のある生徒が多い。そのため、短い文章を多く掲載してあることで、読解の学習を数多く積み上げることができる。

その教科書が適切である理由	
3.国語の観点	
①学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。 ②語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。 ③読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	・①話し合いの時に使う言い回しが具体的に掲載されている。「読み方を学ぼう」がわかりやすい。 ・②「語彙を豊かに」がわかりやすい。 ・③「読書の広場」のページが設けられている。
2	・文章の種類によって読み取り方のポイントを図解で示す工夫があり、他の文法の読解に応用できる配慮がある。資料が図や絵で示されており、言葉だけで想像が難しいところも補完できるようになっている。資料編も充実している。
3	・課題作文の添削例や俳句の添削例があり、わかりやすい。
4	・学び方を習得するページが随所に見受けられるとともに、基本から発展する構成になっており学んだことをいかせるような工夫がなされている。
5	・読書活動の充実を図るための文学作品や巻末などの資料が充実している。
6	・三角ロジックがわかりやすく明記されて、「話す力」「書く力」の習得をサポートがしやすいため。
7	・読み物教材が多様であり、考えを広げやすいものになっている。巻末の資料的な部分が充実している。一年間の流れを組み立てやすく構成されている。
8	・三年間を通して、系統性を持って学習をすることができそうである。説明的文章も現代社会の問題に触れていて取り組みやすい。
9	・「思考の方法」「読み方を学ぼう」にポイントがまとめられている。また、情報・メディアを単元として取り上げている。 ・読書活動の充実のためには、話題の作家や新しい本が多く紹介され、生徒が興味をもつ工夫がされている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・「読み方を学ぼう」のページが非常にわかりやすく読解の時に手引きとして使いやすい。
2	・考え方、解き方などいねいに細かく記載されているところがよい。
3	・又吉直樹さんの作品が取り上げられていたり、写真が多かったりと生徒の興味・関心を惹くものが多く含まれている。また、視覚的にも見やすく、興味を抱ける工夫がなされている。
4	・現在、TVなどでも活躍している人の作品などが扱われているので、内容に入りやすい。わくわく感がある。基本的なことが資料として載っているので、わかりやすい内容になっている。
5	・レイアウトが見やすく、生徒にとっても使いやすい。
6	・「思考の方法」で学んだことを確認でき、「読み方を学ぼう」で体系的な読み方を学ぶことができる。また、書く領域の題材や説明がよく、生徒が取り組みやすい。

その教科書が適切である理由	
3.国語の観点	
①学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。 ②語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。 ③読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①各教科の前の「学びナビ」で、育成されるべきポイントを視覚的に解説している。関連する教材を続けて掲載することで、学びを深めやすい工夫がある。 ・②「言葉の小窓」という教材で会話文をつかって語彙について説明している。 ・③「広がる本の世界」というページがある。「読書への招待」という教材がある。
2	・SDGsを取り入れ、幅広い言語活動を明確に意識した内容になっている。
3	・多様なジャンルから単元が選ばれており、興味関心をひきやすい。
4	・学びナビがわかりやすい。事前に扱うことで、なぜその教材を学習するのか理解してから読みすすめることができる。
5	・本文の学習に入る前に押さえるポイントが載っていて、わかりやすいと感じた。
6	・説明的文章で、現代の状況に沿った、考えさせる、メディアリテラシーについての教材等が掲載されている。語彙力を豊かにする記述も適切である。また、文学的教材も、生徒が興味を持ち、話し合い等の、豊かな言語活動を促すような、現代の作家の作品が掲載されている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」で学習の概略がわかり、「みちしるべ」で読み深めたり対話をしたりすることができる。また、書く領域では、様々な種類の文章を書くことができる。 ・読書活動の充実のために紹介している本の数がとても多い。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・マンガなど、サブカルチャーに触れつつ、文学・説明文・古文など「言葉」の用いられ方が多様にわかる単元となっている。
2	・SDGsの視点を入れた構成
3	・生徒が興味をもって、取り組める教材が多い。
4	・発達段階に応じて様々な読みやすさの読みもの教材がある。

その教科書が適切である理由	
3.国語の観点	
①学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。 ②語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。 ③読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①各学年、各単元末にある「学びの窓」では、身につけさせたい資質・能力について解説・図解して示している。 ・②各学年に「季節のしおり」があり、四季の言葉や詩歌を紹介している。 ・③各学年に「読書を豊かに」があり、「星の王子さま」など中学生が親しみやすい小説を掲載している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の充実を十分に考えた点が良い。文章を書く力を育てる活動を多く取り入れている。 ・何を目的としてその単元を扱うかがわかる。学年段階に合わせた内容で、教科横断的にも指導しやすい。また、戦争という観点からも継続して触れることができる。教科書全編を通してつながりのあるテーマを引き継ぎ、学んだことを次に生かしやすいものになっている。語彙や読書に関しては、各章に関連の物が扱われていて取り組みやすい。説明文が一番わかりやすい。構成が明確。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通してどのように学習を進めていくか、マッピングなどの例が豊富で使いやすい。 ・親しみやすい教材が多く、理解を深めるのに取り組みやすい教材がある。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・どの観点でも資料が豊富。語彙を豊かにするための工夫が随所に見られる。 ・二次元コードの資料も活用できる。 ・教科書冒頭の「学習の見通しをもとう」がわかりやすい。 ・「西の魔女が死んだ」「君たちはどう生きるか」など、生徒になじみのある読書教材が多く用いられている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の充実を図るための文学作品や読み物が多く、生徒に読ませたいものが安定して取り上げられている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の配置が適切である ・学習のてびきが現行版より整理され、わかりやすい。 ・③について、2年の「翻訳作品を読み比べよう」など、新しい視点の教材がふえ、工夫が感じられる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に連続性があり、小説・論説文・説明文ともに、心を育てることができる。韻文、散文ともに選択されている題材が品格がある。 ・三年間見通して指導しやすい。話す、聞くの活動が充実している。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な読み物教材が最も多い。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・「見通し→捉える→深める→考えを持つ」の流れがわかりやすい。中学生にふさわしい教材を扱っていて、学習活動や目標にあった教材内容になっている。資料がまとまっていて、活用しやすくなっている。「話すこと」の教材の説明がわかりやすく、取り組みやすい。読書の紹介で生徒が興味を持ちそうなものを扱っている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ①各領域のバランスがよく、言語活動例もわかりやすい。 ②語彙力向上のための読み物が生徒の興味関心を引くものが多い。 ③文豪の名作を掲載していたり、読書案内も時事のものを取り入れていたり魅力で紹介している。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・広く知られた作品が多く載っていて、生徒に取り組みやすい教材になっている。そのため、生徒にとって、言語活動を豊かにする学習活動も取り組みやすく、発展的読書活動も期待できそうである。また、語彙力を豊かにする教材も適切である。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じた構成と内容になっている。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の手引が充実していて、学習の見通しや振り返りがしやすく、主体的な学習態度を養うのに適している。 ・「情報」の扱いが系統的で充実している。 ・読書案内が作品冒頭部を紹介するなど、意欲を喚起するように作られている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・全分野が網羅されており、興味深い文章が多い。 ・話題性のある作家の作品を用いることで、子供たちの読書活動の推進につながる感じる。 ・学ばせたいことを可視化することで、子供たちの学びが深まりやすい。 ・シンプルで教材につながりがあり、子供たちの読む力や考える力がより育まれる。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・「読み深める→考えを持つ→振り返り」の流れがあり、考えながら授業に取り組めるようになっている。また、翻訳や報道文の比較をできる単元や情報・メディアの単元もある。 ・読書活動の充実のためには、多様なジャンルの本が紹介されている。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を見越した教材になっており、現在使用している教材ともつながりをもって指導できる。また、読書活動に力を入れた内容になっている点も魅力である。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・「学習の窓」や「思考のレッスン」では、学習内容を図解してあり、また関連するページを示してあるためわかりやすい。
2	・前章とのつながりがあり、学んだことをすぐに生かすことができる。間が空いてしまうと既習事項を一から丁寧に追わなければならないところを、シームレスに単元に入っていくことが可能であると考えられる。
3	・教材量、題材が適切。 ・学習支援が必要な生徒にも触れやすい作品が多く、充実した活動ができる。
4	・説明的文章、文学的文章を読む際の要点などの巻末の資料がまとまっており、生徒には理解しやすい仕様である。支援の生徒にとっては、文字のフォントやレイアウトが視覚的に圧迫感を感じず、取りかかりやすい。
5	・在校生にとっては今までの流れで学習に取り組めるため、混乱が生じにくい。
6	・文学作品が充実していて、生徒に読ませたい文学作品が多く掲載されている。
7	・二次元コードを活用することで、話す力を身につけること、伝統的な言語文化に親しむことができそうである。確かなる国語の力や豊かな感性を育むことが方針となっている点が、本校生徒の実態にそくしていると考え。藤沢市の小学校が光村図書を採用しているため、小中接続、9年間の継続した指導を考えた場合、中学校も光村図書を採用するのが望ましい
8	・生徒に身近で分かりやすい題材が多い。話す聞くが生徒の実態に合っている。古文の暗唱にふさわしい題材など、まじめにやろうとする本校生徒の資質に適切である。
9	・使い慣れている体裁のため。
10	・二次元コードがいくつか入っていて、生徒の興味を引きつけるような工夫がされている。三年間を見通した構成が指導上、よくまとまっていると感じる。平和教材としてふさわしい内容である。
11	・詩から入り、小説も人の温かさを伝える物が多く、道徳的でもあり良い。古典は基本的なものは掲載されている。本校の生徒にとって、順番通りに進みやすいのはとても魅力的なので、生徒も学習しやすいと感じていると思われる。
12	・「学びの道しるべ」が生徒の気づきの手助けになっている。 ・生徒に伝えたい教材が多い。 ・教材の内容も多岐にわたり、挿絵や写真も適切である。
13	・文学、説明的文章とも平易でありながら、考えさせる文章が選ばれており、取り組みやすいと考える。
14	・説明文が充実しており、論理的に読む思考力を育むことができる。
15	・紙面が落ち着いていて、生徒が授業に集中しやすい。「読み深める→考えをもつ→振り返る」の学習の流れがあり、生徒が考える授業を行いやすい。また、話す聞く領域、書く領域の単元は、説明が丁寧に具体例も挙げられているため、生徒が取り組みやすい。
16	・動画も手軽に見ることができ、全教室にネットワークがない本校でも有効活用ができると考えたため。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

書写

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成				2.分量・装丁・表記等				3.書写の観点				4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連				
	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書	
1	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3		○		○		○		○				○				○	
4				○				○				○				○	
5	○			○	○			○				○				○	
6				○				○				○				○	
7		○				○			○				○				
8		○		○		○		○				○				○	
9		○	○	○		○		○		○		○		○		○	
10	○	○	○	○	○			○		○		○		○		○	
11	○	○	○	○	○			○				○				○	
12	○	○	○	○	○			○		○		○				○	
13		○				○				○				○			
14		○		○		○		○		○		○		○		○	
15		○		○		○		○		○		○		○		○	
16	○			○	○			○		○		○		○		○	
17				○				○				○				○	
18				○				○				○				○	
19				○				○				○				○	
	8	12	7	17	7	12	6	17	5	10	6	17	3	7	5	15	

その教科書が適切である理由	
3.書写の観点	
①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。 ②文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。 ③日常の学習や生活に役立つ態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ①巻頭に「書写で学ぶこと」がまとめてあり、三年間でどのように硬筆と関わるか説明されている。 ②行書を使用することでどのようにノートがきれいになるかなど具体的に図解されている。 ③三年で身の回りの文字に触れることで、それぞれの書体がどのような場面で役立つかわかる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方が示されており、目的や目標を意識づけられる工夫がある。 「本のポップを書こう」などは具体例として使いやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 「書写のかぎ」により、何を・どのように学ぶのがわかりやすい。手本の横に示されていることで、書くときも意識しやすい。 内容が充実している。
4	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の学習から硬筆の学習へ結びつけやすい工夫がされている。
5	<ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに硬筆→毛筆→硬筆の流れで学習する構成になっていて、毛筆で学んだことを硬筆にいかす意識付けができる。 行書の特徴を大きく4つに分けて記号で表し、手本に記入することで、理解を促している。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に書写活用ブックがあり、書くことの少ない子どもたちに一般的な文書の書き方を提示しやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 書写に対して苦手意識の多い生徒のために、丁寧な手順が書かれていることは必要であると考える。
3	<ul style="list-style-type: none"> 書き方の例などが見やすく、取り組みやすい。

その教科書が適切である理由	
3.書写の観点	
①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。 ②文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。 ③日常の学習や生活に役立つ態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・①毛筆と同じ字を硬筆でも学習できるように構成されている。 ・②書き込み式の練習ページが豊富に設けられている。 ・③各教科や文書等によく使われる熟語の練習ができるようになっている。
2	・説明部分がわかりやすく書いてある。自分で練習するページも多くあり、硬筆としても活用できる。
3	・姿勢も手本が示されていて、用途に応じた書き方が示されている。
4	・学習内容がわかりやすく、ポイントが明確に示されているところが良い。
5	・情報量が限られていることで、取り組みやすさがある。また一方で、資料は多いことで視覚的にすっきりし、扱いやすい内容になっている。
6	・「文字を正しく整えて書くため」の方法についてわかりやすい表記があるため。
7	・バランスが良いと感じた。説明が丁寧である。順序立てて学べる工夫がなされている。お手本が大きく見やすい。楷書体・行書体の一覧表があり、字数も多い。
8	・手紙、便せん、封筒、はがき、送り状、のし袋などの社会生活に役立つ学習が期待できる。 ・硬筆・毛筆とバランスよく配当されていて、楷書と行書の違いがわかりやすい。
9	・学習すべき内容が網羅的に盛り込まれており、多くの切り口から課題を提示することができる。
10	・数項目を毛筆で学習したあとで、学習のまとめとして硬筆で書く構成になっている。硬筆には実用的な内容もあり、生活に結びついている。 ・楷書と行書を比較して学べるようになっている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・送り状、願書、のし袋など、生活の中で実際に使うであろう書式が資料として紹介されており、生徒の学習に対する意欲につながると考えられる。
2	・わかりやすくレイアウトがなされており、興味をひきつけやすい。
3	・絵やイラストが多く、カラフルで視覚的に見やすく、取り組みやすくなっている。
4	・現在使用している生徒用机で学習することをイメージすると、最も適したコンパクトなサイズのため。
5	・使いやすいサイズである。
6	・毛筆ばかりでなく、硬筆の練習も学年ごとに配当されていて、取り組みやすい。
7	・書きやすい文字が採用されている。

その教科書が適切である理由	
3.書写の観点	
①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。 ②文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。 ③日常の学習や生活に役立つ態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①同じページに硬筆で書いた場合と、毛筆で書いた場合が載っている。 ・②間違えやすい書き順に数字がふられている。カラーがうまく使われていて見やすい。 ・③ノートやハガキなどの日常で文字を書く時の具体例がたくさん掲載されている。文字を扱う職業の紹介もある。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・整った字を書くための手引きがある等、細部に工夫がある。 ・資料は充実している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の文学作品や古典にリンクしている。 ・小学校の1026字、中学校の1110字の漢字を、いずれも手書きによる行書で示されていて、日常生活につなげやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・画数が少なく、とらえやすい字形の文字が採用されていてよい。 ・筆順変化や省略等を自然にわかりやすく学ぶことができる。 ・筆遣いの説明が丁寧であると感じる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・項目ごとに硬筆→毛筆→硬筆の流れで学習する構成になっていて、毛筆で学んだことを硬筆に生かす意識付けができる。 ・行書の朱書きの手本がわかりやすくてよい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴を理解しやすいように、朱書きの手本に書き順、筆脈を表す点線、ポイントを記入しており分かりやすい。また、筆の穂写真を使って部分的な説明もしている。「書く速さを意識して書く」などのまとめの課題がある。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や学校生活で活用できる課題が豊富に設定されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな取り組みに活用しやすそう。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で利用できそうな内容が多かった。生徒の興味を引きそうな写真が多かった。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・説明やコラムの写真が豊富でわかりやすい。国語と関連する題材が多く取り上げられていて、国語と関連付けながら学習ができる。また、目次のページに二次元コードがあり、毛筆の運筆動画が充実している。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に学習の進め方と、書写を通して学んでいくことが具体的に示されている。右ページに手本、左ページに説明や要点、硬筆練習欄があり、学習が見開きで完結するようになっている。また、目次のページに二次元コードがあり、毛筆教材の運筆動画など、学習に役立つ情報を活用して学習することができる。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧
書写

光村図書

その教科書が適切である理由	
3.書写の観点	
<p>①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。 ②文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。 ③日常の学習や生活に役立つ態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ①毛筆教材の後に「学習を生かして硬筆で書こう」があり、関連をもたせている。 ②「行書で活用しよう」では、ノートやメモや一筆箋の書き方など、様々な場面で文字を正しく速く書く工夫が示されている。 ③「手紙の書き方」や「冊子にまとめよう」など、日常生活に活用できる課題が扱われている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆の分量も良く、生徒が取り組みやすい配慮がなされていると感じた。
3	<ul style="list-style-type: none"> 最初のページから、文字を正しく書くための基本事項(点画、字形など)が配置されている。そのため、硬筆を用いて学習し、毛筆に移行するという流れがスムーズである。単元の目標がページごとに書かれているため、目標を意識して書く作業を行える。
4	<ul style="list-style-type: none"> 別冊としてついている「書写ブック」が自宅学習でも活用できそうでよい。硬筆の学習に生かしやすい。 二次元コードによる動画コンテンツがあり、わかりやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> 手本が見開き一ページと見やすい大きさになっている。UD書体が扱われていて視覚的な配慮がされている。最後に王羲之の書があることで、高校や次のステージへのつながりを感じられる内容となっている。
6	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の進め方」がわかりやすい。 書写ブックが便利。 説明が適度で丁寧である。 ②について、整えて書くことを重視した編修となっている。
7	<ul style="list-style-type: none"> 三年間の見通しがあり、指導しやすい。教材の量、質ともに適量である。取り組みやすい内容になっていて、興味を持ってできると思う。
8	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が書写の力を習得していく上で、使い慣れた体裁でありわかりやすいため。
9	<ul style="list-style-type: none"> 練習しやすそうな作りである。書き込みができるページが多い。教科書の装丁・大きさもちょうどよい。
10	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆の学習において、日常生活に役立つ力が身につくことができそうである。
11	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れが、「①毛筆で確認する②硬筆に生かして書く」となっていて分かりやすい。別冊の「書写ブック」に豊富な書き込み欄があり、学習項目ごとに硬筆の学習ができる。また、日常の学習や生活に役立つために、デザインと文字について考えたり、文字の使い分けを考える学習内容がある。
12	<ul style="list-style-type: none"> 書写を学ぶ上で、毛筆と硬筆の教材のバランスもよく、字の大きさ、教材の配列等、適切になされている。文字を正しく、整えて書くことの記述も適切である。また、書写での学習が、日常の生活を、豊かに役立つような工夫が随所に感じられる。
13	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆から毛筆への流れがよい。 楷書から始まるので、生徒の学習段階に適している。 書き初めの手本に楷書・行書の両方があり、わかりやすい。
14	<ul style="list-style-type: none"> 文字を正しく整えて書く上で、基本から応用へ、易から難への配列に工夫がある。
15	<ul style="list-style-type: none"> シンプルで分かりやすいレイアウトで統一されている。
16	<ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに毛筆→硬筆の流れで学習する構成になっていて、学んだことを硬筆で確認することができる。 行書のポイントを筆の穂の写真と朱書きでとてもわかりやすく説明している。
17	<ul style="list-style-type: none"> 手本が見やすく、また、筆遣いのポイントなど指導しやすいアドバイスが多く書かれているため。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や学校生活で活用できる課題が豊富に設定されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 教材量や内容が本校生徒の学力に適する。 書体の興味関心をひきつける工夫がある。 毛筆・硬筆ともに内容が充実していて、意欲的に取り組める。
3	<ul style="list-style-type: none"> 教員側もページを開いた時、目標に沿って指導しやすい工夫がされている。生徒側も目標を見て基本事項をおさえて取り組むことができる。支援が必要な生徒にも分量と見やすいレイアウトである。
4	<ul style="list-style-type: none"> 在校生にとっては今までの流れで学習に取り組めるため、混乱が生じにくい。
5	<ul style="list-style-type: none"> 全国文字マップや職場体験の例など日常の学習に役立つことのできる内容が多い。
6	<ul style="list-style-type: none"> 書写ブックや二次元コードの活用で、家庭での学習も期待できる。 生徒が興味をもって学習する工夫がされている点が適切である。
7	<ul style="list-style-type: none"> まじめに取り組むことができる生徒の実態に合っていると思う。
8	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆のワークが多くあり、学んだことの定着を図ることができそうである。
9	<ul style="list-style-type: none"> 教材が生徒の興味を引く配列であると考える。
10	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさが机の上に置くのによい。 朱筆の説明がよい。
11	<ul style="list-style-type: none"> 手本の書体が標準的でなじみやすく、数も多いので取り組みやすい。
12	<ul style="list-style-type: none"> 手本が大変丁寧で美しく書かれている。 書くときの要点をわかりやすくまとめている。

13	<ul style="list-style-type: none"> 紙面がすっきりとしていて、ポイントがわかりやすく、授業にも集中できる。また、「学習の窓」の項目ごとの学習のポイントがまとめられている。ページごとに二次元コードがあり、タブレットをつかえば各自が毛筆の運筆動画を確認しながら練習をすることができる。
14	<ul style="list-style-type: none"> とくに硬筆において、教科書に書き込みができるページが多く、支援が必要な生徒も使いやすいと考えたため。
15	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に学習の進め方が示されており、学習のステップが統一されている。「学習の窓」によってポイントを示し、「学習を振り返る」では自分の取り組みを振り返ることができる。別冊の「書写ブック」によって、硬筆の練習をしっかりと行うことができる。各ページに二次元コードがあり、毛筆の運筆動画などを活用して学習することができる。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

社会(地理的分野)

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成				2.分量・装丁・表記等				3.地理的分野の観点				4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連				
	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
2		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
3	○	○	○	○			○								○		
4	○				○								○				
5			○			○									○		
6	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7			○			○				○				○			
8			○			○									○		
9			○			○									○		
10	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11			○			○			○						○		
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	○	○	○		○	○	○			○				○	○		
14			○			○									○		
15			○			○									○		
16	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	○		○			○									○		
18	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	○	○	○	○		○	○	○	○						○		
	10	7	18	4	8	8	18	5		6	4	17	0	5	4	17	0

その教科書が適切である理由	
3.地理的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	・課題やふり返りなどのところに生徒が取り組みやすくなるような工夫や配慮が見られて、地域ごとに異なった方法が考えられていて、多面的、多角的な視点が取り入れられている。それによって、生徒の活動の充実が図られる。
2	・「探究課題」の提示から、節の最後に「探究課題を解決しよう」が設けられている。 ・ヒントを活用して段階的に取り組むことができ、グループ学習に取り組みやすい。
3	・様々なコーナーやコラムを設けることにより、地理的な見方・考え方を幅広く、また段階的に深め関連付けられるような工夫がなされている。
4	・「見方・考え方」のコーナーがある。 ・「探究課題」の設定により、思考力・判断力・表現力を生かせる取り組みができるよう配慮されている。
5	・ページごとに課題が設定されていて活用できる。
6	・学習内容のまとめ方や資料の活用方法を学べるページが多い。本文の内容を必要最小限にとどめ、その分多面的・多角的な思考を促す資料やコラムなどが充実している。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・現在の子どもたちの学力や実態や首都圏に位置する藤沢市の地域的な特性を踏まえると本書が妥当ではないかと考える。
2	・探究課題のヒントが節末にあることで、意見をまとめやすく、本校の生徒が回数を重ねればスムーズに学習できるようになる。
3	・資料やグラフが豊富であり、資料集のように活用ができる。授業以外にも、家庭学習などでも生徒が興味を持つよう工夫されている。
4	・生徒が学習の進め方をつかめるような工夫がなされている。 ・グループで協力しながら取り組む、対話的活動が設定されている。
5	・単に知識を習得するだけではなく、課題意識を持って学習を進めやすい導き方をしている。

その教科書が適切である理由	
3.地理的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	写真が大判で分かりやすい。教科書の内容から、いろいろな話に広げられるよう工夫されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・図版がすっきりと配置されていて見やすい。 ・「地理の窓」というコラムが、他者よりも生徒の興味を引く内容となっている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に直接書き込める形の問題が多くあり、生徒にとっては学習に取り組みやすい。世界や日本の諸地域の最初のページにかなり大きめな地図があり、国名や地名、自然環境などが大変わかりやすい。特集ページなどに他者にはないタイプの記事や写真があり、多様な現代社会の様子を学ぶ事が出来る。(例 P80 「カタルーニャ州独立運動」)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・中東問題が入っていて、わかりやすい。 ・「もっと地理」「スキルUp」がわかりやすい。 ・地域の問題が入っていてよい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・発展した考え方が出来るように作られている。
2	・各節の初めのページに掲載されている地図が大きく、見やすい。生徒はどのような地域かを認識しやすいのではないかとと思われる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章がコンパクトにまとめられており、本校の生徒の実態にあっている。 ・世界の気候の順番など、学習に取り組みやすくなるように配慮されている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・国旗の解説がわかりやすい。 ・「もっと地理」「スキルUp」がわかりやすい。

その教科書が適切である理由	
3.地理的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	・比較が必要な資料などが適切に配置されているため、子どもたちの活用する力を育てやすい。
2	・世界の学習ページで、国名が追加され、分かりやすくなっているため、課題を追究・解決する活動の充実が図れる。
3	・「節の学習を振り返ろう」で地理的な見方・考え方を働かせて説明するページが設定されている。 ・単元ごとに学ばせたい内容がわかりやすく提示されており、社会的事象に対する「なぜ？」の部分を考えさせられる内容である。「章の問い」「節の問い」「学習課題」が設定されており、生徒が学習の見通しをもてるようにしている。言語活動を備えた振り返りの場が充実している。
4	巻頭で見方・考え方を紹介している。各節や章のまとめで見方・考え方を意識してまとめさせる工夫がされている。
5	・授業内で使いたい資料、写真が一番多く、活動の充実が図れる。
6	地図やグラフなどの資料と本文のバランスも良く、生徒が多面的・多角的に考察し、学習を深めることができるため。
7	・巻頭で、「見方・考え方」についてや「学習の仕方」をしっかりと説明し、さらに「コラム」や単元末の「振り返り」等で、繰り返しのトレーニングできるように、学びが構造化されている。その繰り返しの中で思考力・表現力が身につけていく工夫がなされている。 ・課題も具体的なものが多く、取り組みやすい。
8	・資料や写真が適切で見やすい点。 ・資料や地図などの色合いが見やすい点。 ・単元ごとに何を学習するのがわかりやすく、課題設定がしやすい点。 ・地図帳と参照がしやすい点。
9	・単元を貫く問いが多面的・多角的に考察できるようによく考えられている。 ・世界と日本の諸地域ではまとめで「私たちとの関わり」を設け、ジブンゴトとしてテーマを捉えさせる工夫をしている。
10	・現代の様々な社会的事象や課題について、幅広く取り上げており、生徒の視野を広げるであろう。例えば、アフリカ州の単元では、本文の内容以外に「サッカー フランスチームのメンバー写真＝多くのアフリカ系選手が入っている」「アパルトヘイト政策」「フェアトレード」「サヘル緑化への取り組み」「携帯電話での送金＝ケニアでの様子」など多様な話題が扱われており、指導時間も他者教科書よりも多い。生徒が多角的多面的に考察し表現する為の工夫が各所に見られる。
11	・生徒の見方・考え方を働かせるために、適切な図版や資料が載っている。
12	・資料の配置が適切で見やすく、情報量も豊富である。
13	・ページごとに課題が設定されていて活用できる。 ・まとめページ(単元ごと)がよい。 ・二次元コードで動画を含んだ資料、データを読み取ることができ、今後のタブレット活用に対応している。
14	・各章や節ごとに問いが設定されており、それを単元ごとの学習課題とあわせながら、生徒が課題の追究をしやすい。
15	・地図や写真が効果的に配列され、多角的に考察しやすい。興味関心を高めやすい。
16	・現実的な課題がより良く取り上げられている。 ・図版などが見やすくわかりやすい。 ・説明させるページが入っていて、考えさせることができる。 ・ハザードマップがわかりやすい。 ・新しい内容(地域探求)の扱いが丁寧で情報が豊富である。
17	・節を貫いた学習テーマがあり、そのテーマに対して追究しやすいように本文が構成されている。また、節の学習の振り返りで課題について学習の整理をしやすいようにまとめられている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・ネット環境が整っている家庭が多く、二次元コード読み取りによる説明や設問にも対応できる。
2	・生徒が主体的に学べる工夫がみられる。
3	・章や節が関連付けやすく整理されており、生徒自身が今何を学んでいるのかわかりやすかった。 ・すべての生徒が読み取りやすい、わかりやすい表現が使われている。遠方から登校する生徒が多いため、ページ数が抑えられ、軽いかつ高い強度であることが有効である。
4	・節の問いや章の問いなど、単元を貫く問いを設け、生徒が学習内容の見通しを持てるようになっている。 ・各節のまとめで、自分事としてテーマを捉えさせるよう問いかけがなされている。
5	・各節のまとめのページの内容が、いろいろな見方を提示するような内容になっており、生徒の自主的な学習に大いに役立つと思われる。
6	・生徒たちが自発的に学習しようとする内容構成のため。
7	・学習状況調査などで、県平均を上回るものの学級内の能力差は二極化傾向にある。本書は単元末の「振り返り」で最低限必要な知識と、各単元のテーマに沿った思考力などを育てるまとめがあり、視覚的にもわかりやすい。そのため能力的に厳しい生徒でも知識力や思考力を高めやすく、能力の高い生徒はさらに発展しやすい工夫がなされている。
8	・支援を要する生徒が増えてきている中で、資料等が視覚的に見やすい点。 ・単元ごとの学習課題がわかりやすく、課題設定がしやすい点。 ・地図帳と参照しやすい点。
9	・関東地方の工業のようすについて本文で説明があり、「関東地方のおもな工業と出荷額」の図に藤沢市の記載がある。また、「ハザードマップの読み取り方」で、隣接都市の鎌倉市が取り上げられており、藤沢市のとの関連付けがしやすい。
10	・掲載されている写真が新しく、場面も印象的である。見るだけで楽しく、世界や日本の諸地域の自然や人々の暮らしを生徒に理解させやすい。また、防災学習の単元ではハザードマップの例に鎌倉市が取り上げられており、親近感を持つことであろう。様々な角度から現代の世界や日本の暮らしを伝え、生徒に考えさせようという姿勢が各所に見られる。(例 「地理プラス+」「共生」など)。本校には、度々各地に旅行できる環境がない生徒も多いが、この教科書で学ぶ事が、生徒の生きる世界を広げる一助になるであろう。
11	・生徒が今までに学習した内容に関連するような資料等が多くあるため、学習においてスムーズにつながりを作ることができる。
12	・見やすい資料が掲載されているものが適切である。
13	・今後進むだろうICT活用に対応し、内容としてもバランスがとれていてよい。
14	・各章や節ごとに二次元コードが設置され、動画で内容を理解できる。 ・「関東地方の主な工業と出荷額」の図に藤沢市についての記載があり、生徒が身近に感じられる。
15	・地元の神奈川・首都圏や、修学旅行で訪れる京都についての記述が詳しい。
16	・現実的な課題がより良く取り上げられている。 ・見やすく扱いやすい。
17	・節の学習の振り返りが充実していてみやすく学習の整理がしやすい。また、二次元コードがついていてスマートフォンなどの機器を使い、自分で学習しやすくなっている。

その教科書が適切である理由

3.地理的分野の観点

- ①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。
- ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。
- ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

社会(歴史的分野)

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成						2.分量・装丁・表記等						3.歴史的分野の観点						4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連									
	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版	日本文教出版	育鵬社	学び舎	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版	日本文教出版	育鵬社	学び舎	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版	日本文教出版	育鵬社	学び舎							
1	○		○					○		○					○		○					○						
2	○		○					○		○					○		○					○						
3	○	○	○					○		○					○		○					○						
4	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○		○						○						
5	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○		○						○						
6	○		○					○		○					○		○					○						
7	○							○							○		○					○						
8	○							○		○					○		○					○						
9	○		○					○		○					○		○					○						
10			○	○				○		○	○				○		○					○						
11	○	○						○		○					○		○					○						
12	○	○	○	○				○		○	○				○		○					○						
13	○	○	○	○	○	○		○		○					○		○					○						
14	○		○	○	○			○		○					○		○					○						
15	○		○	○				○		○					○		○					○						
16	○							○		○					○		○					○						
17	○		○					○		○					○		○					○						
18	○		○					○		○					○		○					○						
19	○		○					○		○					○		○					○						
17	5	15	6	4	2	4	16	7	15	3	5	0	2	15	2	13	2	2	2	0	2	12	1	12	0	4	0	2

その教科書が適切である理由	
3.歴史的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(歴史的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵に対して「見方・考え方」が示されており、多面的に考察できる工夫がみられる。 単元全体の探究課題が明確にされており、1単位時間の学習課題にも的確に反映されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ写真が図にあり、分かりやすい。グラフ等が簡潔にまとまっている。情報量も適当である。 各単元に見方・考え方を働かせるアドバイスや、短文記述などの表現課題があり、生徒の主体的な学習に資する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 資料が豊富であることから、生徒が意欲的に学習することができる。 学習課題だけでなく、歴史的な見方や考え方を段階をおって学習できる工夫が見られる。 授業で使用するだけでなく、生徒が家庭で学習する上でも、学習課題や問いが適切である。 近代史のページ構成がしっかりと時系列を意識して構成されている。
4	<ul style="list-style-type: none"> 明確な学習課題と、それにもとづく「チェック」「トライ」によって社会的な事象をより深く考察することができる。すべての単元に年表がついていて、社会的な事象の流れが視覚的にイメージしやすい。 基本的な知識・技能を身につけさせる年表・地図などが多く使われていて多面的・多角的な考察につながる。単元全体を貫く「探究課題」が立てられ、それをめあてとして学習できる。1単元ごとに「学習課題が提示され「チェック&トライ」の2段階の問いで学習課題を解決しやすくなっている。
5	<ul style="list-style-type: none"> さし絵が豊富で注釈が少ないので、資料を読み取る力をつけさせることができる。 「資料から発見」や「もっと歴史!」のページなど、興味・関心をそそり、多様な視点で歴史を捉えられるようになっている。
6	<ul style="list-style-type: none"> 見やすいレイアウトで、本文も簡潔である。 単元ごとの(学習課題)も、ほどよい設問で、生徒の自由な発想を促すことができるようになっている。 古代の世界歴史について、必要な内容が盛り込まれている。
7	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色のとらえ方で、歴史的な見方・考え方の中心である「比較・関連・現在とのつながり」の視点をトレーニングし、その後各所に出てくる「見方・考え方」で、絶えず意識させる工夫がされている。 章末の「探究へのステップアップ」や「もっと歴史」で違った角度から考察・表現する工夫がなされている。 「みんなでチャレンジ」などの対話的な学習の場面が多く取り入れられている。
8	<ul style="list-style-type: none"> 章末のまとめがわかりやすく、課題学習がしやすい点。 発行に際して多くの方々意見を取り入れられており、また中学校現場の教員も多く、現場の意見を取り入れられている点。
9	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題が明確になっており、多様な課題が用意されており、世界史の内容についても充実している。 見方・考え方や協働学習のための項目を用意し、学習できるよう配慮されている。
10	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象を多面的・多角的に考察するために、一つの視点からだけではなく、複数の視点が理解できるような内容になっている。
11	<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れがわかりやすく、生徒が理解しやすいものとなっている。
12	<ul style="list-style-type: none"> 年表が各ページに入っている。 各ページに設定されている課題が、取り組みやすい形式でよい。 写真が豊富。
13	<ul style="list-style-type: none"> チェック、トライが工夫されている。「チェック」は教科書をもとに作業し、「トライ」は重要語句を使い〇〇文字程度で説明など、生徒自らまとめる力をつける工夫がされている。
14	<ul style="list-style-type: none"> 図版がわかりやすく、内容も適切である。 用語解説のページを設けてあり、わかりやすい。
15	<ul style="list-style-type: none"> 章ごとのまとめで様々な手法が紹介されていて、取り組みやすい工夫がある。 世界史の内容が充実しており、多面的な学習活動の配慮がされている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 特に近現代史において、適切に地図が配置されており、空間的に認識しやすい構成になっている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 情報量が適切であり、取り組みやすい。 学習に用いる資料がそろっており、副教材を追加購入する必要がない。
3	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象を中立の立場で考察でき、偏ったイメージを与えることなく、人間の良さ・過ち・あるべき姿を教えることができる。 基礎的・基本的な知識を身につけられるように各章の最後に基礎・基本のまとめが設けられている。 幅広であることから視覚的効果が高いゆえ、支援が必要な生徒にとって使いやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が学習の進め方をつかめるような工夫がなされている。 グループで協力しながら取り組む、対話的活動が設定されている。
5	<ul style="list-style-type: none"> 本校生徒の学習意欲、学力の個人差を考慮すると、本書が簡潔に要点を記しているのが、適切だと思われる。
6	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況調査などで、県平均を上回るものの学級内の能力差は二極化傾向にある。そのような中で、今回の改定で高める必要がある力を、巻頭でしっかり説明し、各時間や単元末で繰り返し課題を設定しているため、能力差のある生徒でも最後には身につくような工夫がなされている。
7	<ul style="list-style-type: none"> 支援を要する生徒が増えてきている中で、各単元や各章のまとめがわかりやすいこと。 冒頭に各回ごとのポイントが記載されており、何を中心に学習していくのかがわかりやすい点。
8	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の歴史についての調べ学習が用意されており、神奈川県や藤沢市などの歴史と他地域の歴史を比較しながら学べるように配慮されている。
9	<ul style="list-style-type: none"> 歴史を複数の視点から考えることと同時に、歴史を大観することもできるため、自分の考えを発言することを大切に本校の生徒の授業の実態に即していると考えられる。
10	<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れが一定でわかりやすくなっているのが適切だと考える。
11	<ul style="list-style-type: none"> 授業後に取り組む課題が、各生徒が取り組みやすいように工夫されているのがよい。
12	<ul style="list-style-type: none"> 図版の大きさ・色などが見やすく配置されている。 図や絵画資料などが各ページで豊富であり、視覚的に興味関心を引きつけやすいようになっている。

その教科書が適切である理由	
3.歴史的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(歴史的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の重要語句に対する説明書きが丁寧なされており、生徒が課題解決しやすいよう工夫がされている。 ・言語能力の育成を図る文章構成になっている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「確認」「表現」など、生徒が自分なりに考え理解していく工夫がされている。また、「○節をとらえる」についても節ごとにまとめることができるので、とてもよいと感じる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ事項との接続が意識できる構成になっている。 ・判読しやすいレイアウトで構成されている。

その教科書が適切である理由	
3.歴史的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(歴史的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	・学習課題に対して考えやすい文章構成になっており、適切な資料が使用されている。 ・様々な人々の生活の姿を読み取ることができる資料が配置されており、多面的に考察しやすい工夫がみられる。
2	・人権や平和に関するコラムがあり、さまざまな立場の意見を取り上げている。生徒が自らの意見をもつために必要な資料が多く、解説も丁寧である。 ・各節のはじめにある資料などから、当時の様子を把握しやすく、子どもたちの考えることへの助けとなる。また、戦時中の歴史認識について、多角的に考えられる記述が多い。
3	・歴史的事象の因果関係がわかりやすく記されている。 (例:世界恐慌から第二次世界大戦までの流れ) ・〈タイムトラベル〉(歴史を探ろう)などの学習の仕掛けが豊富である。 ・古代の世界歴史について、必要な内容が盛り込まれている。
4	・時代ごとの資料や本文に偏りのある表現もなく、生徒たちが歴史を学ぶ上で、多面的・多角的に考察ができるため。また、歴史を学び、今の生活に結びついていることを実感することができるため。
5	・地域史などの記載が充実しており、多様な課題が用意されている。
6	・日本の歴史と世界の歴史のバランスが良く、資料の内容も提示の仕方も適切である。「人権」「環境」「地域史」などのコラムで本文では取り上げづらい内容をうまく補い、生徒が多面的、多角的にその時代や社会を考察する大きな助けとなっている。内容的にも面白く興味を惹かれる。本文の記述も多面的で、その社会的事象の正負の面的確に表現している。
7	・資料がとともわかりやすく、生徒が読み取りやすいものとなっている。
8	・各ページに設定されている課題が、多面的、多面的であり、また、選んで取り組むのがよい。
9	・「確認しよう」「説明しよう」など、目的が明確で、生徒が活動しやすい。また、教科書の語句を抜き出すなど、社会が苦手な生徒でも取り組める。
10	・図表が鮮明で大きく認識しやすい。「タイムトラベル」、「歴史を探ろう」など、興味関心を高め多角的に考察するための資料が豊富。
11	・幅広い人物が取り上げられている。 ・第二次世界大戦の背景が詳しく出ていたり、多角的にバランスよく取り上げられている。 ・政治史や政権交代などが歴史的に解説されていてわかりやすい。
12	・章の「学習を振り返ろう」では、「見方・考え方」を働かせ、時代の特色に対する論理的な説明をする学習に取り組める。また、「多面的・多角的に考えてみよう」など立場や選択を通して考察を深めることができる。
13	・章・節・項目ごとに問いが立てられており、生徒が取り組みやすい工夫がある。 ・章のまとめを段階的に進める工夫がされており、わかりやすい。
4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・単元の冒頭に時代を大観しやすいよう工夫がされている。
2	・ノートをまとめるなど、自ら学習する意欲が高い生徒が多いため、コラムや解説を読んで、主体的に学習し、内容を深めることができる。 ・学習に用いる資料がそろっており、副教材を追加購入する必要がない。横浜に近い土地柄もあり、横浜開港についての記述があったことで、校外学習へつなげていきやすい。
3	・教科書中の地図に「藤沢」の表記があったり、後醍醐天皇の写真が使われていたり、藤沢に住む生徒にとって興味がわく内容である。
4	・積極的に学習しようとする意欲を促す資料が豊富なため。
5	・地域史に関する記載が豊富で、神奈川県についての項目がもうけられている。
6	・生徒が歴史を学ぶ上での基本的知識や問いの立て方を導入に持ってきている。どのページでも写真、絵、地図等の資料と本文の位置関係が同じで、わかりやすい。時代の全体像の絵も見開き2ページで大きく扱われていて、その当時の社会がイメージしやすい。その絵から読み取る小問題がついていて、生徒は学習に取り組みやすいだろう。文章量も適切。読みがなも多く、文字を読むことが苦手な生徒にも学習の大きな助けになるだろう。人名さくいんにもふりがながついていて、調べやすい。
7	・興味関心を引き出すための資料が多く、授業で役立つと考える。
8	・自分で選択しながら取り組む課題が、生徒の考える力を養うことに結びつく。
9	・教科書の中に鎌倉の大仏の記載があるなど、生徒が身近に感じられる教材を取り扱っている。
10	・文章が平易で、理解しやすい。
11	・色使いがカラフルである。 ・「コラム」や地域史で関心を持てる内容になっている。
12	・紙面全体にわたるイラスト地図や、タイムトラベルのイラストなど、その時代の様子をイメージしやすく学習の理解に役立つ。また、二次元コードがあり、スマートホンなどを用いて、自分で学習しやすくなっている。

その教科書が適切である理由	
3.歴史的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(歴史的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後史の部分の時間数配分がやや少ないため、全体的にすっきりした構成になっており、生徒は学習しやすいだろう。実際にはあまり使う事のない「特集ページ」や「アニメキャラのセリフ」などがなく、すがすがしい。他者の教科書より、文章の内容が多く、説明が丁寧で、読んでいてわかりやすい。一単元終わった後の「ステップアップ学習」も「○○○を『説明しよう』」ではなく「×××について『考えてみよう』」という姿勢で編修されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・思想に偏りがなく、考えさせる資料が豊富。 ・用語が豊富で、高等学校での学習につながる内容になっている。 ・史実に忠実な記載がされている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	

その教科書が適切である理由	
3.歴史的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(歴史的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	・単元の振り返りページがシンプルに構成されており、歴史的な見方を働かせる工夫がみられる。
2	・課題ごとにどのような見方・考え方を働かせるかが示されており、生徒が取り組む際の助けになる。 ・各時代の比較の視点が取り入れられているため、時代の特色をつかみやすい。 ・全体の構成が話し合い活動を前提としているため、主体的・対話的な学習にしやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・学習課題に加え、着目するポイントが明確に示されており、主体的な学びを促す構成になっている。
2	・本文の記述が平易なので、多くの生徒がより理解しやすく、発展的な学習への基盤をつくりやすい。
3	・「基本用語」があり、言葉の説明が丁寧で、言葉のつまずきがないように工夫されている。
4	・内容が重要事項にしばられているので、生徒にとってわかりやすい。 ・資料が豊富で、表示も大きいので生徒にとって見やすい工夫がされている。

その教科書が適切である理由

3.歴史的分野の観点

- ①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(歴史的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。
- ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。
- ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。

--	--

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連

--	--

その教科書が適切である理由	
3.歴史的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(歴史的な見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	・多様な資料(読み物、ものづくり、絵画資料の読み取り)を、実際に体験したり、ICT機器を活用した鑑賞、資料と対話する活動などを通して、その時代を生きた人々の生活や世界観を追体験することができる。
2	・他者はコラムなどの囲み文やまとめの中で課題追究や見方・考え方のトレーニングを行うように構成されているが、この教科書は1時間の中身でそれを追究しようとしており、見出しや本文に工夫がなされ、より実践的な構成を取っている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・ルビが多く使われており、多くの生徒が使いやすい工夫がされている。
2	・学習状況調査などで、県平均を上回るものの学級内の能力差は二極化傾向にある。そのような中で、今回の改定で高める必要がある力を、コラムや章末課題に頼らず、生徒が興味を持つようなタイトル・読み進めたいくなる本文構成の中でつける工夫がなされている。 ・外国につながる生徒が多い中、イスラム暦・マヤ暦も紹介し、世界史とも関連づいた詳しい年表を載せている。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

社会(公民的分野)

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成						2.分量・装丁・表記等						3.公民的分野の観点						4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連					
	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社
1	○		○	○			○		○			○		○					○		○			
2	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○					○	○	○			
3	○						○												○					
4	○						○					○							○					
5	○						○					○							○					
6	○	○	○	○		○	○		○			○							○		○			
7	○	○	○	○		○	○		○			○	○						○	○	○			
8	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○					○	○	○			
9	○						○					○							○					
10	○	○	○	○			○	○	○			○							○		○			
11	○						○					○							○					
12	○		○				○		○			○							○		○			
13	○			○			○					○							○		○			
14	○	○	○	○			○	○	○			○							○		○	○		
15	○	○	○	○			○	○	○			○							○	○	○	○		
16	○		○				○		○			○							○		○			
17	○	○	○	○			○	○	○			○	○						○	○	○			
18	○						○					○							○		○			
19	○						○					○							○		○			
	19	8	11	9	0	2	17	8	9	7	0	0	0	0	17	4	10	2	2	0	0	0	0	0

その教科書が適切である理由	
3. 公民的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	・各単元の導入の活動が政治経済にかかわらず主体的に考察できるように設定がされている。
2	・客観的な意見がまとまっており、分かりやすい。 ・文章表現が分かりやすい。 ・各資料の配置が見やすく、適切である。 ・章末のまとめが充実しており、課題を追究、解決する学習の展開に役立つ。
3	・日本国憲法の成立史がふまえられている。 ・領土問題の扱いがよい。 ・生徒が話し合いなどに前向きに取り組めるような課題が設定されている。
4	・図解が多く、実社会で使える知識として定着できる見方・考え方をより深く考察できる工夫がされている。 ・随所に「見方・考え方」が設定され、無理なく現代社会の見方・考え方を学ぶことができる。 ・問いが積み重ねられており、それを軸に課題解決的な学習ができる。 ・単元を貫く「探究課題」が設定され、節ごとの「探究ステップ」、1単位時間の学習課題、「チェック&トライ」に取り組むことで、生徒の「主体的な学び」につながる。
5	・学習内容や課題追究を深めるための仕掛けやコーナーが充実しており、また、「見方・考え方」のコーナーも設けられ、現代社会の見方・考え方を働かせ、活用するための様々な工夫が見られる。
6	・学習内容の理解を深めるコラム、活動、マークがあり、わかりやすい。 ・本文がわかりやすい。
7	・課題を追究・解決するための資料が豊富で、視覚的にも生徒が取り組みやすい内容であったため。
8	・章末のまとめがわかりやすく、課題学習がしやすい点。 ・発行に際して多くの方々の意見を取り入れられており、また中学校現場の教員も多く、現場の意見を取り入れられている点。
9	各章の導入において、学習課題が明確であり、学習しやすい工夫がみられる。
10	・人権についての記述が細かくて良い。体験活動を取り入れながら実生活と関連付けようとしている。(生存権など)。中学生の政治参加についての記述も多い。経済分野は空欄などを用意して、活動を促すページが多い。
11	・生徒の思考になじみやすい例などが用いられているため、考え方を働かせる上で、より生徒にとって共感できる内容になっている。
12	・生徒が積極的に取り組める題材が多く盛り込まれている。また、思考力を必要とするので、考える力を育成することができる。
13	・取り組みやすい学習課題が設定されている。 ・チェックトライがいい。
14	・「チェック」「トライ」で示されている課題がわかりやすく、取り組みやすいものとなっている。また、思考を深めるよい機会ともなっている。
15	・写真や図表、データが豊富で生徒が考えを深め、課題を解決する学習をすすめるのに適している。
16	・資料・課題学習などが適切に配置されている。 ・日本の領土問題が最も丁寧に紹介されている。また的確な写真や地図が掲載されている。 ・地理・歴史との関連をとてもよく意識しており、またSDGsなどの現代的な課題も最も丁寧に紹介されている。
17	・画像や資料が豊富で視覚を通じた理解、また他分野との相互理解がしやすい。

4. 本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・生徒が考察して考えを述べられる題材が多く、主体的に学ぶという点で好感が持てる。中学生にも扱いやすいことが予想される。
2	・親しみやすい資料で、発展した考え方ができる。 ・自分の考えや意見を表現する活動を重視し、その力を伸ばすために適切である。
3	本文以外のワークが豊富であり、授業をはじめ家庭学習においても生徒が意欲的に取り組めるような工夫が見られる。
4	・社会的な事象に対して事実をありのまま丁寧に伝えており、「自分はどう考えるか」を提示しやすい。 ・本文にやさしい表現が多く、理解を深めやすい。 ・遠方から登校する生徒が多いため、抑えられたページ数、軽さ、高い強度等が適切である。
5	・学習内容が定着できるよう、導入資料から振り返りや発展的な活動まで、見開きの2ページで内容が整理され、より学習しやすいように構造化されている。 ・ICTを活用して取り組める教材が充実していて、つまづきを補ったり、内容を用語や写真で振り返ることができるよう、工夫されている。
6	・文章の表現が具体的でわかりやすい。
7	・生徒に自主的な学習を促すことができる内容構成のため。
8	・支援を要する生徒が増えてきている中で、各単元や各章のまとめがわかりやすいこと。 ・冒頭に各回ごとのポイントが記載されており、何を中心に学習していくのかがわかりやすい点。
9	・章の初めの導入部分に、生徒が興味をもてる工夫が多く見られる。
10	・図版や体裁の見やすさから生徒の興味を引くという点において、本校の生徒の実態からみて適切であるといえる。
11	・楽しく学べる題材が掲載されていて助かる。
12	・取り組みやすい課題が設定されているところが、本校生徒の実態にあっている点。
13	・4コマ漫画等に頼らず、より効果的な資料を用いることで、現実社会の課題や現状を実感しやすい。

14	・人権や平和について、具体例を多く取り上げており理解しやすい。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を課題として提示するのに適切で、生徒が取り組みやすい構成になっている。 ・資料・課題学習などが適切に配置されている。 ・地理・歴史との関連をとともよく意識しており、またSDGsなどの現代的な課題も最も丁寧に紹介されている。
16	・地理とつながる資料が多く、分野を超えたつながりの理解がしやすい。

その教科書が適切である理由	
3.公民的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の語句(太字も含めて)が読みやすい。 政治分野、経済分野の内容が、生徒の興味を引きつける内容になっており、意欲的に学ぶことができる。 現代社会では、イラストが分かりやすく、生徒の学習に役立つ。 領土問題の扱いが合理的抑制的である。国旗、国歌についても、多角的視点から柔軟に理解へと導いている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 多面的・多角的に考察するためのグラフなどの資料が豊富である。 本文がわかりやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 編修の柱が「持続可能な社会を創造する市民の育成」であり、「ともに生きる社会の実現」にむけて様々な優れた配慮が感じられる。特に差別をなくすための実際の活動例が多く取り上げられており、説得力のある教材になっている。(例P52～P63)。巻末資料の諸法令集も充実していて、生徒が課題を追究・解決する活動の為に配慮がなされている。終章の「私たちが未来の社会を築く」の構成も、大変よく練り上げられていて、生徒が多角的、多面的に考察し、表現するために工夫されている。(P227～)
4	<ul style="list-style-type: none"> 様々な視点からの資料が非常に多く、多面的・多角的な授業展開を準備することができる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に身近に感じるように工夫された題材設定が多い。特にP82、83の題材は、地方議会という政治の場を身近に感じる良いきっかけになると考えられる。そのような将来的に公民の内容が繋がっていくことを見据えた内容編成が中学生の学習に有効と考える。
2	<ul style="list-style-type: none"> 「基本的人権」や現代の「国際社会」に関する内容が他者と比較して抜きん出ている。特に差別、貧困、平和、宗教、経済格差、子どもと女性、性的少数者の問題、エネルギーのあり方等の諸問題に意欲的に取り組んでいる。「外国人参政権」の問題や地方自治の中での「外国人市民代表者会議」の例なども取り上げられており、外国につながる生徒の多い本校の生徒たちにとって、これからの世界で生きていく上での基本的な教養や必要な意識を身につける大きな助けとなるだろう。
3	<ul style="list-style-type: none"> 一つの物事に対し、様々な視点での資料・文言が多く、多面的・多角的に学びやすい。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧
 社会(公民的分野)

帝国書院

その教科書が適切である理由	
3.公民的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	・伝えるべき内容とそれに応じた適切な資料がある。特に経済的分野において、石貨の資料が提示されていたが、お金というものを考察するにあたって重要な資料であり、貨幣の概念の導入に活用することが出来る。
2	・各章導入の「学習の前に」で、具体的にこれから学習する内容について考え、課題を見つけた上で進めることができ、理解しやすい。解説が丁寧である。
3	・本文がわかりやすい。
4	・部や章の冒頭に、紙面全体にわたる大きなイラストから、社会の全体像を概観する「学習の前に」を設け、小学校での既習事項を確認するとともに、公民的分野で学ぶ社会のしくみや制度と現実の生活とを結びつけて学びを追究する意欲を喚起する工夫がある。 ・各ページ下の「小学校・地理・歴史の関連」により、学びのつながりへの工夫がみられる。 ・アクティブラーニング型の授業を行える特設「アクティブ公民」では、社会的な概念に基づいた論理的な説明と、さまざまな立場を踏まえての合意形成を目指す議論を促し、社会に見られる課題の解決に向けた選択・判断に取り組む活動を設けている。
5	・アクティブ・ラーニングに対応しやすい課題が提供されており、生徒が興味をもって取り組める工夫が見られる。
6	・巻末の諸法令集が充実しており、現代社会の諸問題を学び考える上で、良い参考資料になるであろう。また、経済分野において実生活と結びつきの強い内容の扱いが多い。様々な経済活動の仕組みを多面的、多角的に捉え、考えていくことに適している。「主体的に社会の形成に参画できるように」ことを編修の柱にして、「労働者の権利」や「企業の社会的責任」などが働き、経済生活を営む大前提についての記述が大変詳しくわかりやすい。
7	・アクティブ公民のページがいい。 ・学習課題が提示されている。 ・「小学校・地理・歴史の関連」というコーナーがある。
8	・章の学習でこれまで学んできた内容を振り返ることができ、さらに多面的、多角的に考察し表現するための工夫がなされている。
9	・「多数決の決め方」や「効率と公正」などのテーマについての学習で、一般的な考えだけでなく、その問題点などが具体的に書かれているので多面的・多角的な考察に発展しやすい。
10	・資料が豊富で文章表現も易しいため理解しやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・中学生でも考察できる題材の工夫を感じるが、表現に一考がある。
2	・導入で具体的な事例を考えることによって、主体的に発表・発言する力がより向上する。
3	・文章の表現が具体的でわかりやすい。
4	・各章・節の冒頭で、生徒が学習の見通しをもつための工夫が見られる。また、それぞれの末尾や各ページには「確認」「説明」する活動や資料活用の視点などが提示されるなど、様々な配慮が見られる。
5	・神奈川県の記事が掲載されるなど、身近な話題が提供されており、生徒が関心を持ちやすい
6	・現代の社会で生徒達が、遭遇し、思考し、判断を迫られるであろう多くの事象に関して知らせ、考えさせようとしている。特に「公民プラス+」で取り上げられている題材は、真剣に考えざるを得ない好教材である。(例「救急サービスを有料に?」「夫婦別姓の議論」など)。 又、経済分野の展開も優れていて、「一人暮らしにかかるお金を考えよう!」「パン屋を起業しよう」など、身近な話題から、興味関心と思考を引き出している。進め方が丁寧で、理解に時間がかかる生徒にもわかりやすく工夫された教材となっている。
7	・アクティブ公民のページがいい。 ・学習課題が提示されている。 ・「小学校・地理・歴史の関連」というコーナーがあるなど、本校生徒の実態にあっている。
8	・挿絵や資料が見やすく、また教科書で示されている課題がわかりやすい言葉で表現されており、生徒が取り組みやすい。
9	・章の学習の振り返りや、「アクティブ公民」など、思考力・判断力・表現力が身につく課題が多い。また、二次元コードがあり、スマートフォンなどを用いて、自分で学習しやすくなっている。
10	・文章表現が易しいため、様々な理解度の生徒に対応しやすい。

その教科書が適切である理由	
3.公民的分野の観点	
①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールの可否判断の視点が明確化されていて、生徒が考えることを助ける。 ・領土問題がよく、生徒の学習意欲に繋がる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・社会との関連が明確に示されており、現代社会を考える教材が充実している。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラゲチャートなど考察する手段が明示されている。また、アクティビティーの題材がそれぞれ中学生がとっつきやすいように組まれているので、考えやすい。

その教科書が適切である理由

3. 公民的分野の観点

- ①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。
- ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。
- ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。

4. 本校の生徒の実態や地域等の特性との関連

その教科書が適切である理由

3.公民的分野の観点

- ①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。
- ②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。
- ③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

社会 地図

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成				2.分量・装丁・表記等				3.地図の観点				4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連			
	東京書籍	帝国書院			東京書籍	帝国書院			東京書籍	帝国書院			東京書籍	帝国書院		
1		○				○								○		
2	○					○								○		
3		○				○								○		
4		○				○								○		
5	○					○								○		
6	○				○									○		
7	○				○									○		
8		○				○								○		
9		○				○								○		
10	○					○				○				○		
11						○								○		
12	○				○									○		
13		○				○								○		
14		○				○								○		
15	○					○								○		
16	○					○								○		
17		○				○								○		
18	○				○									○		
19		○				○								○		
	9	17			5	19				3	18			3	18	

その教科書が適切である理由	
3.地図の観点	
①一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。 ②統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、生徒の発達の段階に即したものが適切に取り上げられているか。 ③生徒が自主的に学習に取り組み、情報を読み取る技能及びまとめる技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①地理だけでなく歴史や公民の学習につながる工夫がされている。 ・②著しく古いデータのものがない。 ・③各地のテーマ資料が充実している。教科書との関連も充実している。
2	・地勢図だけではなく、資料のページも充実しており、見やすく工夫がなされている。
3	・現代的な課題が特集されていて、資料集としても使えて、関心を持たせやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校の生徒の学力に即している。首都圏に位置するという観点から見ても様々な情報を活用し自らの生活などをとらえることができるのではないか。
2	・思考力、表現力を伸ばすきっかけとなる、多くの資料が掲載されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と同じAB版で扱いやすい。また目に優しいフォントや色使いでさまざまな生徒に優しい。 ・現代的な課題が特集されていて関心を持たせやすく、資料集としても使いやすい。

その教科書が適切である理由	
3.地図の観点	
①一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。 ②統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、生徒の発達の段階に即したものが適切に取り上げられているか。 ③生徒が自主的に学習に取り組み、情報を読み取る技能及びまとめる技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ①イラストや写真が豊富で視覚に訴えかける工夫がされている。 ②著しく古いデータのものがない。 ③「地図活用」が効果的に組み込まれている。レベルもちょうど良い。自然災害に関する情報が豊富で時代に即している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地図が大判で見やすく、検索もしやすい。図中の文字表記が、はっきりしていて読みやすい。「土地利用の表現」と「等高段彩表現」を併用し、地域における人々のくらしが端的に分かりやすく表現されている。 ・農業や工業に関する資料図や鳥瞰図が多数設けてあることで、農業や工業における人々の努力や工夫などが理解しやすい。一般図の配色の濃淡が鮮明であり、地形の起伏が把握しやすい。文字の大きさも見やすく適切である。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料が系列的に配置されている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料にも色分けがされているので用途によって使い分けられる。 ・地図活用の技能が身につくように随所に作業コーナー「地図活用」が設けられている。 ・鳥目取図、イラストが豊富、地図が大きく見やすいため広域なつながりを把握できる。 ・日本の地図では土地利用表現と等高段彩表現の併用、さらに多彩な絵記号が配されているため地域の様子、人々の暮らしは理解しやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・統計やデータが多く掲載されており、生徒の自主的な学習に大いに役立つと思われる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で扱いやすい内容構成のため。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・さくいのページ番号が太字になっていて見やすい。 ・統計データが新しい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・資料がたくさんあることや、色合いなどが見やすい点。 ・資料の年代が最新で、細かな資料よりも地図的なものを中心としている点。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、資料が大きく、色が鮮やかで、文字がくっきりしていて見やすい。 ・最新のデータを使用し、社会的事象を身近に感じやすい構成になっている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・判が大きく地図そのものが見やすい。一般図の中にも適度に歴史的情報等も加えられており、歴史の授業の中でも地図帳が使いやすい。統計データがより新しい。(例 日本の市人口 2018年版、世界の国々の1人あたりのGDPなど) ・資料ページ(主題図)と一般図のバランスも良く、どの地図も比較的大きめなので、生徒が家庭学習等で使用するときにも読み取りやすく、情報を読み取る技能を身につけやすい。多方面にわたって情報が掲載されているので、この地図帳1冊で、かなり多くの国の「国調べレポート」などを作成することが出来る。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・図や索引は適切に配置され、統計などのデータも生徒の興味関心の範囲として適切なものである。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に配色が見やすいものになっている。統計のページは一列ごとに配色が変わっており、従来のものよりも読み取りやすくなっている。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・地図、資料ともに見やすくバランスがとれている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズで地図が見やすくなっている。また、主題図と各種資料が豊富で、関連付けて学ぶ上で扱いやすい。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・地図が鮮明な色彩で印刷されており、学習に役立てるための主題図やデータなどの資料も豊富である。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく見やすいため、情報を読み取る技能を育みやすい。 ・教科書と同じ会社の方が生徒にとっても使いやすく学びやすい。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別の地図や資料が多い。また世界の諸地域の地図には、「日本との関わり」を示した資料があり、日本と世界のつながりを感じることができる。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや分布図の配色が濃く、わかりやすい。地図は大きい方が見やすい。広い視野で情報をおさえることができる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校の生徒の学力に即している。首都圏に位置するという観点から見ても様々な情報を活用し自らの生活などをとらえることができるのではないか。
2	・資料が適切である。 ・UDに配慮し、大判で見やすいので、主体的に学習する本校の生徒にとって適切である。 ・本校所在地の特性を考えたとき必要となる、防災教育について分かりやすく記載されている。
3	・情報量も多く、地図や資料も見やすい。
4	・シンプルに世界・日本の姿をとらえることができ、生徒の能力にかかわらず使用しやすい。 ・鮮明で美しい印刷であり、とても見やすい地図が多く、わかりやすい。 ・防災をテーマとする資料が充実、さらに近隣地域に関する内容も豊富である。
5	・配色がはっきりしており、本校の生徒にとっては見やすいと思われる。
6	・生徒の興味関心を引き立てる内容構成のため。
7	・藤沢市の日本精工(ベアリング)、いすゞ自動車(トラック)などの表記がわかりやすい。 ・関東地方で藤沢市の工業や横浜中心部が載っている。
8	・資料よりも地図を中心に書かれているため、地図帳としての役割がはっきりしていてわかりやすい点。
9	・関東地方の工業の分布の図に藤沢市が、一例として取り上げられている。
10	・縮尺も大きく地図帳として大変使いやすい。今回、判が縦に長くなり、以前の地図より南北の幅が大きくなったので、より広い範囲が見渡せるようになった。資料ページ以外の一般地図の部分が73ページあり、様々なタイプの授業を組み立てやすい。最もよく使う「日本の領土(周辺)」の地図が最終ページにあり、使い勝手が良い。全体のページ数や厚み、持った時の感触もよく、生徒にとって使いやすい。
11	・資料や図の見やすさなど、見た目のわかりやすさが生徒の実態に適していると考えられる。
12	・生徒にとって見やすいものになっているので、情報を読み取れずに授業についていけない生徒が減ると考える。
13	・世界、日本ともに地域地図がイラストでまとめられていて、生徒の興味関心をひくことができる。
14	・図版が大きくて見やすくなっている。また、色分けがわかりやすく、視覚的に捉えやすい。
15	・首都圏の構成をつかみやすい資料が多く掲載されている。
16	・大きく見やすい。 ・教科書と同じ会社の方が生徒にとっても使いやすく学びやすい。
17	・「地図活用」欄があり、地図資料の見方や考え方がわかりやすく、地図の読み取りを深める役に立つ。また、判が大きく、より見やすいつくりになっている。例えば、関東地方のページでもしっかりと、神奈川全域がみえる。
18	・A4サイズになっても他の教材(資料集)やノート・プリントと同じサイズであり、違和感はない。むしろ1ページに掲載できる情報量が増えたことでページをめくる回数が減ることが期待できる。

その教科書が適切である理由	
3.数学の観点	
①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
1	・導入部分書き込み式になっており、利用しやすい。 ・章末問題が、基礎から応用までレベル別にそろっている。
2	・全体的に見やすく、図形の付録が豊富で学びやすいと思う。
3	・様々な発見がある教材や多様な考え方ができる教材が配置され、問題解決学習に適している。また、タイムリーだったり、生徒の興味を引く内容の教材を各単元の指導内容とうまく結びつけて指導できる。発展的な教材で主体的、対話的、深い学びが実現できる教材が多い。
4	・色の分別やイラストなど、見やすい構成になっていた。また、言語活動を取り扱う問題が多く、深い学びに繋がると感じた。
5	・図や座標がちょうど良い大ききで書き込みやすい。 ・活用問題の分量が適切である。
6	・実生活との関わりを意識できる教材がある。
7	・各章の導入において学校生活の場面が扱われているため、わかりやすい。動画などで視覚的にわかる。
8	・全体的に文章や内容がまとまっていて見やすい。各章導入の例題が興味を引く内容であると感じた。知識を深められる課題がピックアップされている。
9	・各導入部分の題材に工夫や配慮が行われている。また、各問題についても図やイラストを添付するなど、生徒が理解しやすい構図になっている。章末問題はレベル別にまとめられており、問題解決に取り組めるようになっている。
10	・教科担任にとって授業の工夫がしやすい構成となっている。また、練習問題や演習などの難易度に幅がもうけられており、達成度に応じた授業が組み立てられる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・小学校では東京書籍を使用しているので、つながりがある。
2	・章末問題などが難易度別になっており、個に応じた取り組みがしやすい。
3	・発展的な教材を多く配置しているので、数学の得意な生徒も自分で学習を深めることが可能になると思われる。
4	・難易度的に本校の生徒にあっている。また、図の多さや色使いがよかった。 ・興味・関心を引くような題材が導入につかわれている。
5	・余白が多く、シンプルで見やすい。
6	・導入が授業で扱いやすい。
7	・学びを深める課題に重点をおいている。グループ活動での対話を通じて学びを深められる生徒が多いため、本校の実態に合っていると感じた。練習問題が多く設定されており、また教科書の内容もまとまっていて、文章量は少なく大事なところや考えたいことが見やすい。
8	・身の回りのもの・具体的なものからの説明の流れがわかりやすい部分が多く、数学を苦手とする生徒が多い本校にあっている。

その教科書が適切である理由	
3.数学の観点	
①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
1	・活動・例題が適切に配置されている。誤答問題があり、それを考察することで理解が深められる。
2	・レイアウトが見やすいため。 ・個々にあった数学的活動に結びつきやすい。
3	・「深める」という点において、単に難しいや複雑というだけではなく工夫がある。
4	・実生活との関わりを意識できる教材がある。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・内容の配置(教える順番)がスムーズ
2	・練習問題の近くにプラス1の問題があり、学習が進んでいる生徒に対して手厚いため。
3	・本校の生徒には自分なりの視点を持って考える力が必要であり、それを実現できそう。

その教科書が適切である理由	
3. 数学の観点	
① 数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ② 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③ 不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
1	・説明はあっさりしているが、巻末の作成するものが面白く、生徒の興味をひきやすい。一ページの重さは感じないので文字数などちょうどよい。キャラクターの出現率がちょうどよい。ヒントを出しすぎでない。二次元コードは発展的活用を考慮した場合、もう少し数があっても良い。数学的活動が書かれていてよい。
2	・巻末のホワイトボードなどの付録が良く、言葉や表、グラフを用いて論理的に考察し、表現するための工夫がなされている。単純な計算問題が多く、苦手な生徒にも、基本的な知識と技能を身につけるのに有効である。
3	・身近な内容を章の導入で行い、「次の課題へ！」からの「Q」「見方・考え方」から「目標」の設定、課題解決を経て「どんなことがわかったかな」、そして新たに「次の課題へ！」と一連の流れになっており、生徒自身が主体的に取り組めるよう工夫されている。また、「Q」や「数学的活動」では、話し合いをベースに展開していき、別の場面で考えたり、新たな問題を見つけたりと、対話的で深い学びができるようになっている。
4	・レイアウトが見やすい構成になっていた。また、数学的活動の工程を可視化していたので、具体的なイメージをもちながら学習を進めていけると感じた。
5	・図や座標がちょうど良い大きさと書き込みやすい。 ・活用問題の分量が適切である。 ・学習全体が数学的活動として展開できるような配列になっている。
6	・ルーラーキャッチのように実験を行い、それを元に学習する教材がある。

4. 本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・説明はあっさりしているが、巻末の作成するものが面白く、生徒の興味をひきやすい。一ページの重さは感じないので文字数などちょうどよい。キャラクターの出現率がちょうどよい。ヒントを出しすぎでない。二次元コードは発展的活用を考慮した場合、もう少し数があっても良い。数学的活動が書かれていてよい。
2	・本校の生徒は文章だけでは理解が乏しい生徒が多く、色が多く使われていて、見やすく、理解しやすい。振り仮名がついているので、外国籍の生徒にとっても親切である。インデックスがあり、目ごとに色分けされていて、分かりやすく、学習が苦手な生徒にとって、復習しやすく、有効である。
3	・各領域の導入前に「ふりかえり」があり、1つ下の学年や小学校などで学んだ内容の復習が行えるようになっている。数と式／関数・データの活用／図形の学年をまたいだスパイラル学習を意識して取り組むことができる。
4	・非常に見やすいレイアウトで、活動についての流れも示されているので、学習に取り組みやすい。
5	・難易度的に本校の生徒にあっている。また、図の多さが見た目のわかりやすさにつながっている。 ・活用の問題が豊富にある。

その教科書が適切である理由	
3. 数学の観点	
① 数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ② 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③ 不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
1	・導入で取り扱いやすい内容がそれぞれの単元で入っていて、授業も入りやすいと感じた。また、図なども見やすかった。問題がレベルによって分けて利用できる点が良い。既習事項のおさらいが教科書を読みながら確認できる点が優れている。また学びリンクの活用もよい。UDの視点で見やすい。まともな最後にあり見やすい。まなびのページ、発展的なページも興味を引きやすい。
2	・複数の解法があり、多角的な解き方が学習できる。 式の活用で、予想から始まっており、扱いやすい。 「学習のつながり」により縦のつながりがわかる。
3	・たしかめと問いが分かれているため基礎・基本の定着につながる。
4	・図や写真が多くなり、見やすくなった。内容はあまり変わっていないので、今までの研究がいかせる。
5	・実生活との関わりを意識できる教材がある。
6	・日常生活を題材にしたものが多く、取り組みやすい。 ・写真やイラストが多い。 ・1ページの右サイトに参考があり、生徒の活動を支援する工夫がある。
7	・各章導入の内容がわかりやすい。知識を深められる課題がピックアップされている。
8	・分量がシンプルで大まかな解説で生徒が確認しやすい内容になっていると思う。また、確認問題や演習問題が適量で学習の定着が図りやすい。 ・図・イラスト等が普段生活で接している身近な題材を使っている。
9	・基礎的な知識・技能を身に付けるための工夫や配慮が多く見られた。具体的には、各問題に図やイラストが多く添付されており、問題解決に取り組みやすくなっている。
10	・図形の証明分野をはじめ、記述が丁寧である。細かなところに配慮がなされている。(図やイラスト、ヒントの書き方など)。どんな学力の生徒にも合わせられる教科書だと思う。

4. 本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・数学の授業において、積み重ねが苦手な生徒が多い。その点を踏まえると、既習事項のおさらいが教科書を読みながら確認できる点が良い。話し合い、まとめを活用したペア学習など、前年度取り組んできたことを工夫しやすい。
2	・クラス内で、個人間の学力差が大きい場合があるため、複数の解法があり、多角的な解き方が学習できる教材だと、様々な生徒に対応できる。
3	・生徒にとっては、同じ流れでできる。
4	・「学びのマップ」は、どこに戻って復習すればよいか生徒自身でわかるので良い。
5	・問題のすぐそばにポイントや類題、ヒントなど補足的な内容があり、注目しやすい。(ページの右側) ・基本の問題には学習したページが示されており、自分で振り返って学習ができる。 ・余白があり、見やすい。 ・目に優しいカラーをつかっており、落ち着いて取り組むことにつながる。大事なところがカラーで強調されている。
6	・各章の前に、既習事項の確認ができるようになっている。 ・現在使用しているが、生徒の実態にも合っており使いやすい。
7	学びを深める課題に重点をおいている。グループ活動での対話を通じて学びを深められる生徒が多いため、本校の実態に合っていると感じた。
8	学習の展開に目次があるので生徒にもわかりやすい。 身近な例など参考にできるものを提示している。
9	図や解説がわかりやすくまとめられており、基礎を固めるためのものが多く取り入れられ、取り組みやすくなっている。数学を苦手とする生徒が多い本校にあっている。
10	説明の記述が丁寧であることから、数学の苦手な生徒も自学自習が可能な教科書であると考えられる。

その教科書が適切である理由	
3. 数学の観点	
① 数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ② 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③ 不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
1	・二次元コードがついているので生徒が基礎的な知識や技能を身につけやすい。章末問題も基礎的な問題が多く、反復しやすい。
2	・巻末の問題が入試形式になっていて、三年生にとっては基礎を定着させ、問題解決に取り組めるような内容になっている。資料も色が多く使われていて、分かりやすく、おもしろい内容のものが多く、数学的活動を通して、知識を身につけるための工夫がなされている。
3	・各章の導入に生徒が興味を持って、自分で考えてみようと思えるような教材が配置され、苦手な生徒でも学びやすい。
4	・【学びをたしかめよう】では、その章で学んだことの振り返りが出来るようになっており、学習内容の確認や、つまづいた部分を確認し、その部分に戻って学習が出来るように、工夫がされている。また、二次元コードを読みとり、問題のヒントを得たり、解答を得るだけでなく、問題の考え方や過程を知ることによって生徒自身、理解を深めることができる。
5	・解説が詳しく、問題数が多い。図が豊富で、イメージがしやすい。デジタルコンテンツが二次元コードで、すぐに映像を提示することが出来る。しかも、それが多い点が良い。関数の分野も学習しやすい。
6	・ノート形式の解答は途中式を省略せずに示しており、随時基礎的な知識を確認できる。
7	・教科書巻末にある「学びをいかそう」に、興味を引き、また学びを深められる課題がのっている。

4. 本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・自宅学習でも自分で確認することができる
2	・本校の生徒は学習に対して苦手意識を持っている生徒が多く、重要な所が太字だけでなく、枠でくくられていて復習するときに分かりやすい。用語に振り仮名がふってあって親切。導入部分も易しめで学習が苦手な生徒にも分かりやすい。
3	・二次元コードを使ったコンテンツが特に豊富で、課題学習や家庭学習などが行いやすいようになっている。
4	・章末問題の量が多く、学習に取り組みせやすい。
5	・二次元コードでは多くのコンテンツがあり、授業内容のみならず、章末問題やまとめ問題など多くあり、答えもある。また、苦手な生徒への手立てもあり、動画内で見ることができる。
6	・発展が図入りで、条件を変えられる問題まで、スモールステップで考えられるように配慮されている。
7	・問題の条件を変えている教材があり、発展的に考えることができる。 ・紙吹雪についてなど生徒が興味を引きやすい教材がある。 ・大事なところはカラーで強調されている。
8	・探究を深める課題が多く、グループ活動で知識をさらに深めることが期待できたため。

その教科書が適切である理由	
3.数学の観点	
①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
1	・探究ノートが素晴らしい。キャラクターによるヒント、考え方の提示の仕方によって思考が限定されてしまう可能性を感じる。字の大きさ、フォントはともよい。見やすいし、写真もインパクトがあるように拡大してあるが邪魔でなく、印象に残るようなレイアウトにもなっていて素晴らしい。
2	・目標となるタグがあり、生徒が視覚化しやすい。また図など必要に応じて、わかりやすく書かれていた。また討論が入っている内容も含まれているため、生徒が読みやすい、考えやすいと感じた。ICTに優れた内容になっている。また、別冊のワークシートを利用することで、生徒の興味・関心だけでなく、言語活動にも生かせる点が良い。
3	・文字を読まなくても挿絵や図で大体のイメージがつかめる。内容の区切りとページの区切りがそろっており、わかりやすい。たしかめ問題の小問ごとに、学習内容のタイトルがついており、学習内容がわかりやすい。
4	・全体的に見やすく、考えるポイントが分かりやすい。
5	・図や色づかいがよく、見やすいため、目的に応じて生徒がデータを読み取りやすい。
6	・各章に入る前段階で、章に関連する事項を復習することができ、既習事項とのつながりや共通点がわかるような工夫がされている。また、二次元コードを使い、難易度別に問題を解くことが可能である。数学が苦手な生徒であっても、個々に応じた学習が可能である。また、別冊子で、探究ノートがあり、論理的に考えたりすることができる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・探究ノートが素晴らしい。キャラクターによるヒント、考え方の提示の仕方によって理解度に差がある生徒への対応も幅広くなると思われるが、一方で思考が限定されてしまう可能性を感じる。字の大きさ、フォントはともよい。見やすいし、写真もインパクトがあるように拡大してあるが邪魔でなく、印象に残るようなレイアウトにもなっていて素晴らしい。
2	・章末問題などが難易度別になっており、個に応じた取り組みがしやすい。
3	・全体的に見やすく考えるポイントが分かりやすい。
4	・きれいにまとまっているため、授業に取り組みやすい。
5	・二次元コードではかなり多くのコンテンツがあり、授業内容だけでなく、答え合わせや資料、補充問題も見ることが可能である。また、問題量も【例題】や【たしかめ】のほか【確認問題】【A問題】【B問題】と多く、とても見やすい構成になっている。

その教科書が適切である理由	
3.数学の観点	
①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
1	・数学の探検など、有意義な問題が多い。問題も多く、興味関心を引く。
2	・数学の探究というコラムが多くあり、数学的活動や思考を深める活動を多く取り入れやすいと感じた。また、数学研究室の中で、コンピュータの操作に関する記述があり、実際にデータを扱うときの想像がしやすいと考える。
3	・全体的に見やすく、座標の導入が分かりやすい。 ・中1の(マイナス)×(マイナス)など難しいところも規則性の考えを使うなどして良い。
4	・各問題に図やイラストが多く添付されていて、生徒が取り組みやすい工夫がされている。また、言語活動を行う問題では対話シートを設定しているなど、生徒が言語活動に取り組むやすい工夫がなされている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・条件を変えた問題があって理解が深められる。話し合い、学び合いのページが多く、数学の考える力が身につく。
2	・問題の難易度も丁度良く、問と解説の見分けもつきやすい。1ページの文字数も丁度良い。
3	・本校の生徒にとって、全体的に見やすく、座標の導入が分かりやすい。また、中1の(マイナス)×(マイナス)など難しいところも規則性の考えを使うなどして良いので、適していると考えられる。
4	・具体的な事例や数学的事象で言語活動を設定しており、言語活動を行う上では取り組みやすくなっている。数学を苦手としている本校の生徒の導入にはあっている。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

※学校順は無作為に並べてあります。

理科

調査研究の観点	1.内容と構成						2.分量・装丁・表記等						3.理科の観点						4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連																
	東京書籍	大日本図書	学校図書	啓林館	教育出版	学校図書	東京書籍	大日本図書	学校図書	啓林館	教育出版	学校図書	東京書籍	大日本図書	学校図書	啓林館	教育出版	学校図書	東京書籍	大日本図書	学校図書	啓林館	教育出版	学校図書	東京書籍	大日本図書	学校図書	啓林館	教育出版	学校図書					
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3		○		○						○					○					○						○							○		
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	○	○					○					○					○						○						○						
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	○						○					○					○						○						○						
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9		○						○					○					○						○											
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11																																			
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13		○						○					○					○						○											
14																																			
15		○						○					○					○						○											
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17																																			
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19		○						○					○					○						○											
	6	15	8	5	13		7	15	6	5	8	5	14	6	5	10	4	11	5	2	9														

その教科書が適切である理由	
3.理科の観点	
<p>①観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①巻末資料に理科室の使い方など3年間通して、同じ内容が記載されている。 ・②各節(問題発見)では、日常的なことから問題提起している。 ・③実験観察が充実している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載されている写真やコラムのようなものが豊富である。分かりやすさのためにイラストを多用するのではなく、実物の写真を掲載していることが良い。学んだことから身近なことに目を向けさせて、探究心を高めるような工夫がよくされていると感じる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・①Before Afterのコーナーがあり、科学的に探究する力の育成が図られる工夫が見られる。 ・②STEAM教育(現場の人の声のコーナー)があり、理科の有用性を実感する工夫がされている。 ・③実験ページで話し合わせる工夫がみられ、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫がみられる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の興味関心を引き出すような内容の工夫が多い。偉人のエピソードなどを漫画形式で掲載、など。 ・ウェブとの関連を目次にまとめてあり、どのような内容がウェブと関連付けられているか分かりやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・結果の見方・考察のポイントが丁寧に書かれている。 ・自分で考えて書こうという内容が多く記載されている。 ・課題がわかりやすく書かれているので実験に取り組みやすい。 ・実験のポイントがまとめられているので安全に実験を行える。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・使われている写真が興味を引くものが多い。 ・デジタル教科書が充実しており、使いやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は豊かな自然に囲まれているので、学んだことが身近なことにつなげる工夫が生徒に合っている。また、写真が多いことも、生徒の興味を引くように工夫されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・平易な説明と学習者のレベルにあわせて学習を深められる発展内容。 ・判型にA4スリムを採用し、携帯や閲覧のしやすさに配慮している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察が段階的に説明してありわかりやすい。 ・興味を引く写真やイラストが取り入れられているので、デジタルコンテンツや他教科の教科書を確認できるので多角的に物事を見ることができる。

その教科書が適切である理由	
3.理科の観点	
<p>①観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①理科室の使い方やその学年で扱う薬品の取り扱いなどまとめて書かれている。 ・②日常生活の理科というところで単元に沿った内容のものが取り上げられている。 ・③3年の天体のところでは、体験的活動がある。単元の始めに今までの学習内容が記載されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の把握がしやすい。 ・読解力問題で、思考・判断・表現の力がつくように工夫されている。 ・他学年、他教科のつながりを意識してつくられている。 ・探究の仕方のサポートが厚い。 ・主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が端的で分かりやすい。 ・身近な事象を題材にした実験や観察、活動が含まれている。 ・継続的な観察が含まれている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・表がわかりやすくまとめられている。 ・写真を適切な量入れてある。 ・実験のページが見やすく、注意すべきことがわかりやすく書かれている。 ・写真の資料が日常生活とつなげやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・実験手順など説明が簡潔でわかりやすいため、主体的な学習の活動が充実が図られる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・図、文章のバランスがほどよく、読みやすい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・他より①②③の観点が優れているように感じた ・実験の説明が丁寧にされているため、自らの力で知識を獲得しやすい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教科書に比べて、教科書の大きさがA4サイズなので持ち運びや扱いがしやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の進め方」のページで、課題解決学習において、見方・考え方の具体例があり、見方・考え方を働かせて実験を行う上でわかりやすい。実験結果から考察する部分で、どう考えたらいいか詳しく説明している。 ・「くらしの中の理科」というコラムで、日常生活との関連や有用性を感じられるよう配慮されている。防災に関連する内容も、各学年で掲載されている。SDGsを取り上げている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の授業内容にあたる部分が見開きでまとまっており、図版も見やすいので内容を理解しやすい。実験課題における仮説の部分が情報を与えずに勝手に思考的な課題に取り組みやすく配慮されている。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の手順がわかりやすい。図等も量が適切である。 ・単元ごとに問題があり、内容も適切である。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに、分野の並びが異なり実際の理科授業の実態に合致している。自宅でできる簡易な実験なども豊富にあり、理科の興味関心、有用性を深める工夫がある。グラフ、図、本文との接続がよく考えられており、授業の流れや自宅学習での活用がしやすい。小学校や高校との学習のつながり、他教科との連携などピクトグラムを用いて、すっきりと分かりやすくまとめられている。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の力が働き続ける時の運動について、実験では斜面を利用するので、生徒は斜面上での運動を調べていると勘違いしがちである。その誤解を生じないよう配慮がなされている。これは他社にはみられない。 ・過去の学習と未来の学習へのつながりを意識して読める。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・「Science Press」や「くらしの中の理科」などの記述が充実していて、理科の有用性がわかりやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・細かな説明が書かれている。図が多く写真が綺麗で生徒が見てもわかりやすい。
2	・図がわかりやすく、生徒の興味を引く内容になっている。
3	・見やすく、支援が必要な生徒にとって、使いやすいと感じた。 ・説明がわかりやすく、理科に苦手意識がある生徒にとっても取り組みやすい。 ・資料が日常生活につながっている。 ・言葉が平易でわかりやすい。
4	文章と図の配置がよく見やすい。持ち運んだり、教科書を開いたり生徒が扱いやすいサイズだと思った。
5	・理科と日常のつながりについての説明が分かりやすい。
6	本校の生徒には自分なりの視点を持って考える力が必要であり、それを実現できそう。
7	・観察・実験等についての結果がよくまとまっている。大変整理しやすい。
8	実験の手順が丁寧で、図版も多く見やすい。読み物として非常に豊富な情報量で、家庭学習の充実において本校の実態に即している。
9	・生徒が自習(予習)する場合、扱いやすい。休校措置などがとられたときなどはこの視点は大切。 本文は全員押さえるところ。興味のある生徒は発展を含めてというように。また、過去の学習内容にふれているのでつながりを意識できる。
10	・ことばに関するトピックが多いので、言語能力の育成が見込める。 ・文章と図が分かれているのでノートをまとめやすい。 ・神奈川の自然が多く取り入れられているので生徒が興味を持ちやすい。
11	・教科書のサイズがちょうどよいため、机上や持った状態で広げやすい。 ・津波速報など、海辺の都市に必要な生活に密接する情報がしっかり記述されている。

その教科書が適切である理由	
3.理科の観点	
①観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。 ②観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。 ③原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。	
1	・①3年間通して、理科室の使い方など記載されている。
2	・単元ごとの目標がはっきりしており、特に実験のページが見やすいため、実験における探究する力を得やすい。 ・振り返りなどができるため、自主的に進めやすい。・写真で観察実験を説明しているため、理解を深めやすい。 ・Can-Do-Listの自己チェックが取り組みやすい。 ・余白が多く、文字も見やすい。
3	・「理科のトリセツ」が生徒の苦手意識を減らすのに役立つと考えられる。 ・見やすいつくりになっている。 ・巻末にホワイトボードがあり、活用できそうであることから、体験的な学習活動の充実が考えられる。
4	・①学ぶ意義、目標、理科の学び方、仮説、計画の立案が意識されており、科学的に探究する力の育成が図られる工夫が見られる。 ・②学びのあしあと(学びのメタ認知)や、SDGsが意識されており、理科の有用性を実感する工夫がされている。 ・③実験のページが見やすい、ホワイトボードがあるなど、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫がみられる。
5	・図版が見やすく、内容を理解しやすいように配置などが工夫されている。実験課題における仮説の部分が情報を与えすぎで思わず思考的な課題に取り組みやすく配慮されている。
6	・観察・実験のページは、大きな図や写真を用いて整理されている。大変わかりやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・ICT化に対応しており、自主的な活動が進めやすい。特に実験ページが生徒に興味を持たせやすい工夫をしている。 ・解説や教科書の活用法を事前に説明し、活用できる。
2	・図と文章のバランスがよく、見やすい。
3	・内容の分量が多すぎず、読解が苦手な生徒がいる本校にとって適切である。
4	・実験後の考察に一生懸命取り組む生徒が多いので、考える要素としてバランスが一番良いと考えます。
5	・2分野での図版が優れていて、生徒の興味を引く。

その教科書が適切である理由	
3.理科の観点	
<p>①観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ①単元ごとに疑問→課題決定→課題計画→実験、観察→考察、結論の流れで3年間進む。 ③ハローサイエンスでは、生活の中で身近な理科の話が記載されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 課題の把握がしやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 説明が端的で分かりやすい。 身近な事象を題材にした実験や観察、活動が含まれている。 継続的な観察が含まれている。 発展が多く、身近なものとの関連や興味を引くものが多い。 文字が多く、サイズも大きいですが、図が見やすくて分かりやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに、「学んでいくこと」という部分で単元全体を俯瞰することができる。 「学習前の私」と「学習後の私」というコラムで、学びの前後を対比させることで、学んだあとの自分をイメージできるようになっている。「ハローサイエンス」というコラムで、科学が実生活とどのように関わり役立っているかという話題が数多く掲載されている。
5	<ul style="list-style-type: none"> 化学実験の注意事項が優れている。
4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 図がわかりやすく、生徒の興味をひく内容になっている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 骨格標本の例として相模原市の博物館、海岸段丘の例として三浦市、光と音の発生の例として江ノ島電鉄の警報器が掲載されている。海がある本市の生徒にとって身近な海洋ゴミやプラスチックゴミが取り上げられている。 文章が簡潔でわかりやすい。

その教科書が適切である理由	
3.理科の観点	
<p>①観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	①3年間通して、理科室の使い方など記載されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を丁寧に扱い、生徒が常に振り返りながら先に学習を進めていけるつくりになっている。 ・各学年の発達段階に応じた観察・実験の工夫がされている。 ・実社会、実生活との関連から、学習の有用性を見いだせるように工夫されている。 ・探究的な観察実験を中心とし、主体的な取り組みが多く取り入れられている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が端的で分かりやすい。 ・身近な事象を題材にした実験や観察、活動が含まれている。 ・継続的な観察が含まれている。 ・発展が多く、身近なものとの関連や興味を引くものが多い。 ・授業の道筋がすべてつくられている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・探Qシートの活用ができる。 ・実験のページが見やすく、注意すべき点などわかりやすく書かれている。 ・まとめのページが見やすく、生徒が自主的に学習できそうである。
5	・関連事項の説明がくわしく書かれていることから、日常生活や社会との関わりの中での有用性を感じられる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・「探Q実験」では科学的に探究を進めるプロセスが明確に示され、科学的な見方や考え方についても丁寧に記載している。どの生徒もプロセスが分かりやすいように配慮されている。「お料理ラボ」では理科の観点から料理との結びつきを示し、「部活ラボ」では生徒にとって身近な部活に関わる理科の関わりを示し、「お仕事ラボ」では科学が社会でどう活かされているかを示している。また、「防災減災ラボ」では科学が防災減災で役に立っている例を挙げている。植物の観察において、時間や季節による定点観測の変化を写真で示しながらその必要性を示している。また「ためてみよう」では理解を深めるための追加の実験や調べ学習などが示されている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の操作や流れがわかりやすい。また解説が丁寧に図が大きく見やすい。 ・単元の導入の部分では二次元コードからデジタル教材を見ることができ、生徒の興味関心を引くことができる。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・発展やコラムなど生活につながる内容が多く、生徒の興味を引き出す工夫がされている。図版が見やすく、内容を理解しやすい。以前は別冊だった副読本の書き込み部分が教科書中に配置されたことで、授業で教科書を開きながら考えを直接書き込むことができ、振り返りもしやすくなっている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して、分野が同じように並んでおり、学年に応じて柔軟に単元の選択ができるよう装丁が工夫されている。図版では、実物を使っているものが多く、色合いや構図など非常にわかりやすく配置されている。授業での、実験の手順、まとめ方、発言、予想、比較など実際の活動に即した表記が、バランス良く配置されており、理科の体系的な見方・考え方が学べるようになっている。
10	・化学実験の注意事項が優れている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・本文の至る所で二次元コードが使われており、1人1台の端末があれば、好きな時に好きな動画を再生することができる。内容も、理科の見方・考え方に沿ったものであり、使いやすい。
2	・学習への意欲が高い生徒の状況に、学習の進めやすさのつくりが適している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察を通して、深い学びを行えるよう工夫されている。 ・発展した学習が行えるような内容が含まれている。 ・さまざまな角度から多くの例を挙げ、理解の定着をはかることができる。 ・図が多くイメージしやすい内容になっている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真がわかりやすい。(興味をひきつけるような工夫がある) ・二次元コードが豊富で、ICT化に適している。 ・ページを開いた時、内容が生徒に理解しやすいような図や写真の工夫がされている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のプロセスについて、図を使って丁寧に説明されている。また、各観察、実験において「探究の振り返り」を通して、考えを振り返る工夫がなされている。「探Qクラブ」や「探Qシート」では、課題解決のプロセスを示しながら、より深い学びに迫る工夫がされている。また、発展的な内容も丁寧に説明で、様々な場面で触れている。
6	・GIGAスクールを取り入れている本校としては、二次元コードによる自主学習を取り入れやすい。
7	・実験や観察の作業のページなどに細かく書き方や注意が示しており、本校の生徒には合っていると感じた。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・図が多く使われていて、視覚的に印象づけることができる。 ・基礎基本が丁寧に解説されているので、知識の定着が行いやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験が乏しい生徒にとって、実際の写真が多く掲載されており、随所に工夫を感じる。本文の量が以前よりも増えたことで、家庭学習の充実において本校の実態に即している。

その教科書が適切である理由	
3.音楽(一般)の観点	
<p>①表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、[共通事項]をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。</p> <p>③音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	・楽曲の難易度から考えても、曲の背景、歌詞の理解をより良くさせることから考えても、「夏の思い出」は、1学年、「浜辺の歌」は、2学年で扱った方が良く考えたため。
2	・「まなびリンク」が掲載されており、学校での学習後も自主的な発展的学習が期待できる。
3	・歌唱・鑑賞・創作の3分野に分けてわかりやすく記載されている。創作の分野では、学年に応じて内容がステップアップしており、リズムや旋律作りなど3年間系統立てて指導することができる題材となっている。また、鑑賞の分野では資料の写真が鮮明でわかりやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

音楽(一般)

教育芸術社

その教科書が適切である理由	
3.音楽(一般)の観点	
①表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、[共通事項]をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。 ②「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。 ③音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・題材によって目的がはっきりと示されており、言葉が理解しやすい。 ・題材にでてくる記号や用語には調べるためのページ数が記載されており、見やすくわかりやすい。 ・音楽基礎の形づくっている要素の説明やヒントとなる言葉が具体的で、題材の目的もはっきりと示されていて、言葉が理解しやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の成長発達に合わせた題材が選ばれている。 ・協働学習を取り入れやすく設問等を工夫している。 ・授業時数に対して適当な分量が配置されている。 ・学習の目標、目的がわかりやすい。 ・鑑賞教材の楽譜に無駄がなく、見やすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材が適切に配置されており、表記も丁寧で分かりやすい。楽譜のサイズも大きくなって生徒にとって見やすくなっている。 ・必要な情報が適度に配置されている。 ・創作のページもわかりやすく生徒が作業しやすい紙面作りの工夫がなされている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・①表現および鑑賞の基礎的な能力を養うために、それぞれの教材の左端に、鑑賞、創作、表現で色分けをした上で、見やすくそのページの目的が明記されており、生徒が目的をしっかり持ってその教材に向き合えるような工夫がされている。 ・②生徒が魅力を感じる楽曲が系統的、発展的に多く配置されており、自ら進んで積極性を持って授業に向き合うことが出来る。 ・③音楽文化の理解について、重要な点を必要最小限にわかりやすくまとめてあり、生徒の理解を促しやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・共通事項のどの部分に関連付けて指導するのか、一曲一曲に記されている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・①共通事項の説明が丁寧である。指揮の説明も具体的に曲を例示するなどして、格段にわかりやすくなっている。 ・②教材の配置が学年相応である。写真や文章もしっかりしている。 ・③1年次より著作権についての記述もあり、よいと思われる。 ・現在活躍しているアーティストの作品も掲載され、身近なものと感じることができる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのページの構成、写真や図など目で見えてわかる資料の使い方を含め、生徒が主体的そして発展まで結びつけられるよう工夫がされている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や鑑賞の教材として、我が国及び諸外国の幅広い音楽を扱っている。 ・震災復興の楽曲が取り上げられている。 ・各学年、幅広い年代の楽曲が取り上げられている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・「鑑賞」だけでなく「表現」においても、ワークシートの形式が用いられており、主体的・対話的な学びを進める中で表現の工夫ができるようになっている。 ・創作のMy MelodyやLet's Createでは、同じ手法で取り組むうちに、学年ごとに発展的な内容の取り組みができるようにつくられている。 ・巻頭より数曲の歌唱教材が並んでいるが、その選曲と配列がよい。共通教材であった日本の歌、現代の合唱曲、広く親しまれている歌、外国の歌等、多様な音楽に触れ味わうことができる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の背景がわかりやすい構成になっている。題材ごとどの共通事項にあてはまるのかが記載されている。題材を学ぶときに必要な資料などが、まとまっている。
11	<ul style="list-style-type: none"> 扱われている題材が、学年の成長を追って学習が積み重なるように工夫されている。 題材の内容ごとにページがまとまっていて取り組みやすい。 系統立てた学習内容の表示がわかりやすく工夫されている。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的対話的な活動につながるよう、ポイントやきっかけとなる言葉を吹き出しで掲載するなどの工夫がされている。 ・歌舞伎、能などの伝統芸能が1年生から段階的に学習できる工夫がされている。 ・創作では、リズム創作から旋律、和声まで幅広く取り扱われていて、バランスがよい。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて学習の積み重ねができるように順序だてて教材が配列されている。特に「創作」をするためにリズムの理解、リズム作りから始まり、和音の響きを感じながら旋律作りができるように、楽しみながら進められるように工夫されている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・「共通事項」がわかりやすく示されており、ねらいの焦点化ができるよう工夫されている。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・①共通事項について、一覧のページが用意され、関連する各教材のページ番号が紹介されている。 ・②系統的、発展的に配列されている。 ・③生徒にとって身近な音楽が入り口となり、伝統音楽や西洋音楽につなげていくような使い方が可能になっている。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・共通事項が楽曲に対してわかりやすく書かれている。またその目標が具体的で配慮がなされている。 ・掲載の写真などが美しく、楽譜や歌詞などが読みやすい。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・①各教材を通して「教員が教えたいこと」と、「生徒が目標としてほしいこと」の両面が提示されているので、ねらいを明確にして授業が進められる。 ・②曲の特徴を捉え、発問がわかりやすく提示されている。 ・③民族音楽や現代の身近な音楽についての記載があり、音楽の発展をわかりやすく伝えている。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・鑑賞・創作の3分野に内容を分けて掲載されている。表現活動から話し合う項目が掲載されており、主体的・協働的な学習に取り組める内容となっている。様々な音楽が掲載されているところから、世界の様々な音楽にも触れられる教科書となっている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・様々な箇所ヒントが載っていると自ら進んで調べようとする生徒像がうかがえる。
2	・資料の配置が2ページ見開きの中にすっきりと収まっており、説明文も読みやすい。内容、分量共に適切である。 ・図版や楽譜が見やすく、生徒にとってわかりやすい。歌唱共通教材の配分が生徒の発達段階に合っている。
3	・本校の生徒は教科の基礎的な情報等を得て把握しているので、自発的発展的に内容を扱うことができるような構成をしていると思う。また、各ページの情報量も適切で見やすく、紙の質もよいと思う。また、日本の伝統音楽についても親しみやすく紹介されていると思う。
4	・これまで使い続けてきている出版社であるため、教師も生徒も使い慣れている。 情報量が多すぎず少なすぎず、本校の生徒が必要としている情報量に適している。また、支援を要する生徒が多いため、その生徒たちにも見やすいレイアウトや色使い、文字の鮮明さであり、教師、生徒、共に考えを共有しやすいものとなっている。
5	・在校生にとっては今までの流れで学習に取り組めるため、混乱が生じにくい。
6	・それぞれの曲が1ページに簡潔にまとめられており見やすいため、生徒がその曲に集中しやすい。 ・鑑賞曲では自分で考えさせる部分があるため、イメージを広げることができる。
7	・「1番:朝の浜辺」「2番:夕暮れ時の浜辺」には辻堂海岸の写真が掲載され、とても丁寧な作成意識を感じる。
8	・支援が必要な生徒に対しても入りやすい構成になっており、自分から取り組める内容だと思われる。
9	・生徒にとって取り組みやすい教材が扱われているとともに、浜辺の歌では、辻堂海岸の写真が教材に関連して掲載されている。生徒の実態からみて適切である。
10	・楽譜と写真が別ページに印刷されていて、紙面構成がシンプルである。情報が整理されていて生徒の目に入りやすい。また、目に優しい色味を使っていて、写真なども自然に受け止めることができる。 ・糸綴じでつくられており、紙質もよいので、ページの扱いがスムーズである。
11	・題材に関連する資料がひとまとめになっていて見やすい。
12	・地元の歌である「浜辺の歌」を紹介する写真に辻堂海岸が使われている。
13	・題材に関する資料がひとまとめになっており、関連付けられた情報を得られる。 ・ワークシートに罫線や表があり、記述しやすく、全ての生徒が取り組める。
14	・写真の使い方が適当で、理解しやすい。3年間を通して学習の積み重ねができるように順序だてて教材が配列されている。
15	・文章による表現やレイアウト等の視認性もよく、本校の生徒にとって適切な教材であると思われる。
16	・歌唱・鑑賞教材ともに、合唱コンクールなどの学校行事と絡めながら幅広く取り扱うことができる。
17	・楽譜を開いたときの見やすさ、写真の鮮やかさがあり、生徒が興味を持って学習に取り組める。 ・作詞者、作曲者の言葉や人物の説明が同じページにあり、わかりやすさがある。
18	・鑑賞教材は、写真が少ない分、生徒自身のイメージが膨らみやすい。 ・歌唱教材は鮮やかな写真が多く、歌詞や曲の雰囲気イメージがしやすい。 ・発問がわかりやすく、曲と関連づけて考えることができる。
19	・この曲ではどんなところに注意して演奏を工夫すればいいのか、何に注目して鑑賞したらよいかのわかりやすく掲載されている。掲載されている楽譜も刺激が少なく、生徒が見やすく作成されている。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

音楽(器楽合奏)

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成				2.分量・装丁・表記等				3.音楽(器楽)の観点				4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連			
	教育出版	教育芸術社	教育出版	教育芸術社	教育出版	教育芸術社	教育出版	教育芸術社	教育出版	教育芸術社	教育出版	教育芸術社	教育出版	教育芸術社		
1		○														
2	○	○			○					○			○			
3		○			○					○			○			
4		○			○					○			○			
5		○			○					○			○			
6	○	○			○					○			○			
7		○			○					○			○			
8	○	○			○					○			○			
9		○			○					○			○			
10		○			○					○			○			
11		○			○					○			○			
12		○			○					○			○			
13		○			○					○			○			
14		○			○					○			○			
15		○			○					○			○			
16		○			○					○			○			
17		○			○					○			○			
18	○	○			○					○			○			
19		○			○					○			○			
	6	17			7	16				4	15			5	15	

その教科書が適切である理由	
3.音楽(器楽)の観点	
①表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、[共通事項]をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。 ②「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。 ③音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に実践的で分かりやすく(説明が丁寧)生徒が主体的に学習できる工夫がされている。 ・練習曲が多く掲載されていて、生徒が自分の実力に合わせて取り組みやすくなっている。 ・様々なジャンルの音楽を扱い、幅広く音楽文化への興味関心を持たせるような工夫がされている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な楽器を比較する部分があり、今までに学習した楽器とこれから学習する楽器の似た部分や違いを見つけるなど、学習を深め発展させることができる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・扱われている練習曲等のジャンルが幅広く取り組みやすい。 ・各楽器の説明や学習内容がわかりやすく、基礎的な学習の工夫がされている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・①各学年の鑑賞の授業で扱う題材が掲載されており、楽器を使った表現の工夫が考えやすい。 ・②リコーダーで新しい音が出てくるときに運指表の一覧が掲載されていて、学びやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒は地域的にも文化水準が高く、様々な音楽に触れる機会を多く持ってきている。よって音楽のジャンルを幅広く扱っている教科書の方が、自発的・主体的な学習に結びつきやすいと思われる。また、紙面に多くの情報をのせることで、生徒個々の興味関心を引き出す工夫がされていると思う。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・写真がわかりやすく、どのような部分に気をつけて演奏すれば良いかがわかる。文章のみの説明では伝わりづらいが、奏法の写真が詳しく載っているので生徒も理解しやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが見やすく、また地域の祭事等で経験する楽器の紹介もあり、親しみやすくなっている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や鑑賞の授業で習った曲をリコーダーで吹けるのは、生徒自身も楽しめる。 ・新出の運指表が見やすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの技術力向上に資する資料が多く掲載されている。

その教科書が適切である理由	
3.音楽(器楽)の観点	
①表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、[共通事項]をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。 ②「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。 ③音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	
1	・演奏が難しい人への言葉のアドバイスが理解しやすく、目の入りやすいところに記載されているのがとても良い。 ・図や絵が見やすく、わかりやすい。図や絵を見て手本を確認しながら、練習曲を演奏することが可能。
2	・リコーダー…アルト、ソプラノどちらでも対応できる題材が多い。 ・箏…五線譜と箏楽譜の併記がしてある。(生徒には五線がなじみ深い、邦楽楽器を印象づけられる) ・三味線…歌舞伎、文楽などの鑑賞教材の写真相が掲載されている。 ・それぞれの楽器の特色ある演奏が紹介されており、指導用CDに収録されている。
3	・①アルトリコーダーの楽曲が、生徒にとって知っている曲や親しみやすい曲が多く取り上げられており、主体的な学習を行いやすい。 ・②学習を積み重ねていくことが出来るよう、難易度がよく考慮されており、また、情報量も適切な量が掲載されており、生徒が苦手意識を持つことなく興味を持って着実に学習を進めていけるよう配慮されている。 ・③音楽文化の理解について、一目でわかるように項目別にページの色が違い、数多くの音楽文化の違いが明確にわかるような工夫がされている。
4	・アルトリコーダーの特に導入時において、挿絵や楽曲、説明が初心者にも分かりやすく、使用しやすいと感じた。
5	・①ページに掲載されている情報量が適切で、楽譜もわかりやすい。 ・③「笑点のテーマ曲」は身近な曲として生活とも関連付けられる。 ・②リコーダーの扱いも、アルトばかりではなくソプラノリコーダーの楽譜もあり、それぞれの学校事情に合わせた積み重ね学習が可能と思われる。
6	・指使い、奏法の説明が、大事なポイントが目で見えてわかる構成になっており、主体的な学習に繋がると思われる。
7	・我が国及び諸外国の幅広い音楽が扱われていて、最初の口絵には発信者からのメッセージや世界の多様な音楽のありかたについて「音楽って何だろう」を通して考えるページが設けられている。 ・各楽器のページの最初に鑑賞曲が載っている。
8	・掲載曲が、音楽(一般)の教科書の歌唱および鑑賞教材とリンクしており、授業で扱いやすい。 ・巻頭の写真ページは、様々な国の多様な文化の人々が、生活と結びついた楽器音楽を生き生きと奏で、音楽する喜びにあふれている。そのようなコンセプトであることがよい。
9	・紹介されている楽器の種類が多く、身の回りの生活や社会と関連させながら学習できる。
10	・各楽器のページにその楽器を知るために適した鑑賞曲が紹介されており、図や説明による奏法の記述もわかりやすい。 ・和楽器だけでなく、さまざまな民族楽器の演奏方法が掲載されており、諸外国の文化を知るきっかけとなっている。
11	・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの楽譜が併記されていて1年生の導入に使いやすい。不朽の名曲と魅力的な新曲が組み合わせて配置されている。
12	・学習ステップとして系統的、発展的な配列が図で示されており、わかりやすい。
13	・①適切な配慮がなされている。 ・②小学校での既習事項を確認しながら、アルトリコーダーに移行していけるように工夫がされている。 ・③伝統音楽や西洋音楽など、比較的生徒との距離が遠い音楽文化への入り口として、身近な音楽が提示されている。
14	・写真や運指イラストなどが適切に配置され、共通事項が楽曲ごとに書かれていて、配慮がなされている。
15	・アンサンブルの楽譜が多く掲載されており、クラスメートと協力して1つの曲を作りあげられるように工夫されている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・教科書に載っているヒントやポイントを参考にしながら、練習する生徒像がうかがえる。
2	・全体的に厳選された内容で、限られた授業数の中で扱う器楽としては適当と思われる。 ・アンサンブルの楽譜の選曲について、鑑賞教材とリンクしたものや、生徒の心情に合いやすいPOPSまで幅広く網羅されている。
3	・これまで使い続けてきている出版社であるため、教師も生徒も使い慣れている。 ・また、支援を要する生徒が多いため、音楽文化や楽器については難しさを感じてしまう生徒が多く出ることが予想される中、少しでもわかりやすさを求めた工夫(項目ごとのページの色の違いなど)がされており、支援を要する生徒にとって優しい仕様となっている。
4	・在校生にとっては今までの流れで学習に取り組めるため、混乱が生じにくい。
5	リコーダーの楽譜も読みやすく、選曲もふさわしいと思われる。
6	・指使い、奏法の説明が、大事なポイントが目で見えてわかる構成になっており、支援が必要な生徒が自分から取り組める構成になっていると思われる。
7	・学校や生徒の実態にふさわしく、よく耳にする身近な楽曲やクラシックまでバランス良く掲載されている。
8	・糸綴じであり、教科書(楽譜)を開いたときの安定感があり、楽器演奏時に適している。また、紙面構成がシンプルで見やすい。紙質も上質である。
9	・奏法の解説写真が多く、ユニバーサルデザインである。
10	・リコーダーの楽譜が、アルトリコーダー、ソプラノリコーダーどちらでも演奏できるよう、工夫されており、学校によってどちらかのリコーダーを扱っている本市の生徒が取り組みやすい。 ・各ページ、白地をベースとした紙面で読みやすく、フォントもユニバーサルデザインを意識したものになっている。
11	・写真の扱いが適切である。表紙の次の演奏者の思いが印象的で、共感できる。本校ではソプラノリコーダーとアルトリコーダーを併用するつもりなので、両方の楽譜が併記されていて扱いやすい。
12	・文字の大きさや配置が適切であり、写真も多く、生徒にとって理解しやすいものとなっている。
13	・本校で取り組んでいるアルトリコーダー、篠笛に関しては充実しているため、適切である。
14	・楽譜を開いたときの見やすさ、写真が楽曲に対して適切に配置されているので、生徒が興味を持って学習に取り組める。
15	・楽譜がすっきりしていて見やすい。

その教科書が適切である理由	
3.美術の観点	
<p>①生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①生活や社会の中の優れた美術や美術文化に関する様々な作品が掲載されており、生徒にとって身近な視点から美術や美術文化について学ぶことができる。 ・②題材ごとに学習の目標や学習のポイントが掲載されており、自らのよりよい制作へつなげることができる。2学年および3学年の学習内容が一冊にまとまっており、さまざまな資料を参照しやすい。 ・③表現と鑑賞の領域に該当するページそれぞれにインデックスがついている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・①日本の作品や作家、文化についての掲載が多く、生徒が美術文化を身近に感じたり、考えたりできる設定がされている。 ・②生徒の参考作品の掲載を多くし、思いや考え方に共感が持てるよう工夫がされている。 ・③表現方法や制作上のポイントと合わせ、鑑賞領域の情報が関連付けられて紹介されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味を引きそうな題材写真が多く見られる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・表現、鑑賞など区分され取り組みやすい。 ・資料のページが充実している。 ・参考作品などの図が大きく見やすい。 ・表現においてデザインが充実している。鑑賞において色彩がきれい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・図版の点数が多く、様々な表現を提示する編修になっている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年および3学年の学習内容が一冊にまとまっており、さまざまな資料を参照しやすい。富嶽三十六景『神奈川沖浪裏』が実寸大で掲載されている。

その教科書が適切である理由	
3.美術の観点	
<p>①生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、「共通事項」の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①作品鑑賞の図版が見開き扉となっており、大きく細部までみとることができるようになっている。 ・②作品制作における発想や構想の手立てや参考作品の制作過程が写真とともに詳しく解説されており、関連する巻末の資料が示されている。二次元コードの解説音声ガイドや立体作品の360度動画など、造形的な見方・考え方を深めるアシストがある。2学年および3学年の学習内容が一冊にまとまっており、さまざまな資料を参照しやすい。 ・③表現と鑑賞の領域に該当するページそれぞれにインデックスがついている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の相互関連ができる。鑑賞に生かしやすい大きな図版が組み込まれている。発想や考え方、技法などが学べる文章が作品と平行して記されている。題材の一つ一つが深く掘り下げられて使用されている。参考作品に一方方向に偏った意識でなく多様性があること。[共通事項]の内容が教科書内に組み込まれていて、資料集などで補助教材として使わなくても良い授業にできそうである。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・①幅広い題材を扱っていて、生活の中に造形的な見方や考え方が具体的に感じられるような工夫がされている。 ・②イラストを用いて説明がされていて、自分らしい表現や考え方を持てるように工夫されている。 ・③分野別の中に、「表現」と「鑑賞」の領域を並べて相互に関連し見られるようにしている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が関心を持ち、意欲を持ったときに、作品例と技法説明を見て、自ら創造に向かうことができると思う。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな風に表現したいかと思い、制作していったかを生徒が語る場面が設けられていて、参考にしやすい。 ・表現と鑑賞が交互に扱われていて、どちらからでもアプローチできる工夫がされている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・図版を大きく、印象的に配置している。折込ページを効果的に使っている。 ・鑑賞において、比較鑑賞の授業がしやすい編修となっている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとの参考資料が充実している。資料集と違う資料が集められていて、比較したり、細かく観察したりと学びを深くするための工夫がされている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・表現題材に、発想や構想の手立てを示している。生徒の制作過程を紹介している。巻末資料が充実している。鑑賞資料に書き込める。作品を比較して鑑賞できる。作品に近い紙質で鑑賞できる。技法動画や音声ガイドがある。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年および3学年の学習内容が一冊にまとまっており、さまざまな資料を参照しやすい。富嶽三十六景『神奈川沖浪裏』が掲載されている。生徒にとって身近なポップカルチャーの分野が多く掲載されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・発想や考え方でつまづくことが多い中で、本書の作品に基づいたキャプションは有効である。自画像についても参考作品数が多く、偏った見方ではないところが適切である。物事を素直に受け入れ、人の気持ちなどを感じ取るができる生徒が多いため、教科書から受け取った印象を参考にしながら制作に生かすことができる構成である。同じページに多方面からの情報が適量掲載されているため、自分(生徒)の力で主体的に学ぶことが可能であると予想される。修学旅行や平和教育に結びつくことなどから、他教科と横断的に関連付けた資料や生活と美術を結びつけやすい内容であった。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・順序よくテーマの配列が工夫され、どの生徒にもわかりやすい。ページのめりはりもある。2分冊で使いやすそうである。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・表現する上での道具の使い方や取り扱いが丁寧に、詳しく表示されており、ケガにつながらないように指導できる点は評価できる。二次元コードで動画を見られるなどの工夫もされており、1人1台タブレットが使用できる今後を考えると、大変使用しやすいと考えられる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・説明や図が見やすく構成されている。支援が必要な生徒にとっても、視覚的に追いややすい構成になっている。授業の流れがイメージしやすく、作業の確認や手助けになるので、今まで以上に教科書を使っの授業がイメージできる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされている。

その教科書が適切である理由	
3.美術の観点	
<p>①生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①絵画や彫刻、デザインや工芸、鑑賞の3つの領域と分野の構成となっており、それぞれの活動のガイダンスページが設けられており、構想のプロセスや学習のヒントに繋がるようになっている。 ・②発想や構想の参考になる技法や色彩の巻末資料、原寸大の図版が豊富かつ美しく掲載されており、生徒の表現や鑑賞の引き出しとなるような工夫がされている。 ・③表現と鑑賞の領域に該当するページそれぞれにインデックスがついており、かつ表現・鑑賞で相互に関わり合う題材の記載がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・①美術文化との関連に生徒が関心を持ちやすい作家やアニメーションなどの作品を掲載し、造形的な見方や考え方について触れ、生活の中での関わりを身近に感じられるように取り上げている。 ・②生徒が興味・関心を持ち、思いを巡らせられるような題材の言葉選びがされている。 ・③「表現」と「鑑賞」のそれぞれの領域や、両方に関連する内容について表記や色分けがされており、直感的にわかりやすい工夫がされている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日常生活から社会とのつながりに目を向けられるように、わかりやすく工夫がされている。 ・各題材で表現と鑑賞に関連させられる構成となっていて、学習がスムーズにできるように工夫されている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しやテーマ、問いかけが生徒自身に考えさせることをしており題材の導入がしやすい。 ・図の構成が単調でなく目を引きやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の日常生活に関わりが深く、イメージしやすい題材を取り上げ興味・関心を持ちやすくする工夫が見られる。 ・「造形的な視点」「作者の言葉」などの要点を見やすく配置し、生徒の表現や鑑賞活動の着眼点や考える視点のきっかけになりやすい工夫がされている。 ・アイデアの出し方の手法や対話を通じた学習の展開を盛り込むことで自身のアイデアや制作に生かすきっかけになりやすい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい。写真の扱いが構成や視点を示唆するという点で良い。生徒への提示に効果を感じた。技術的な提示も的確。更に、作品と社会との関わりが理解しやすく、時代ごとの自然(環境)との関係によっての変化の経過も見て取れる。社会と自分の関わりを考えるきっかけ作りにも使えそう。特に、鑑賞に使う場合に、作品作りとコンセプトの理解が両方に意識されていると感じた。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・表現、鑑賞など区分され取り組みやすい。 ・資料のページが充実している。 ・参考作品などの図が大きく、色彩がきれいで見やすい。 ・表現において絵画・彫刻、デザイン・工芸がバランスよく組み込まれている。鑑賞において細かい部分にも工夫、配慮がある。 ・全体的に細かい部分にも工夫、配慮がある多様性が受け入れられるものとなっている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と図版の画面上バランスが良く、見やすい。 ・「A表現」と「B鑑賞」を相互に関連させられており、自分らしい表現につなげられる工夫がされている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や、社会の美術を取り入れ、意欲的に学びを深めたいような情報が掲載され、各題材に「造形的な視点」という吹き出しを掲載して、3つの視点から考えさせることができるように、また自分らしい表現ができるような表示などの配慮がされている。 ・「学びの目標」3つが、改訂の要点に沿って提示されている。 ・「形と色」の共通事項が、表現と鑑賞に取り入れられ、その上で美術文化を意識できるような工夫がされている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙も含め、生徒たちが生活や社会の中の美術や美術文化に、豊かに関わることができるような内容が多く取り上げられている。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の作家や生徒作品など、身近な作品をバランスよく取り入れ、生徒の興味や関心を高め、美術への意欲を引き出すのにより適している。3分冊の表紙を効果的に使い、生徒の興味関心を高めることに寄与している。 ・生徒の発想を伸ばすにあたって、具体的に参考にできる資料を適切に配置した編修になっている。 ・折込ページを効果的に使うことや、図版の大小に変化をつけて作家作品と生徒作品をバランスよく配置するなど、表現と鑑賞および共通事項の学習内容を相互に関連して取り扱うことがしやすい工夫がなされている。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりの中で表現できるような工夫がある。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間で学ぶ内容をイメージしやすい。 ・掲載写真(参考作品、作家の作品)が大きく美しい。鑑賞授業にも活用しやすい。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの目標が明確にされていて、制作の意図をもって取り組みやすい。 ・「造形的な視点」の問いがあることで深く考えて、自分なりの表現につなげる手助けになる。 ・画像が拡大されていることにより筆致や素材感が伝わり、鑑賞に適した資料となっている。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・題材に3つの柱に基づく学びの目標が示してある。3年間の発達段階に即した題材設定がしてある。生徒作品や作家作品が充実していて、発想や構想の手立てになるよう配慮されている。二次元コンデンツによって、立体作品が360度鑑賞できる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・2学年および3学年の学習内容が上巻と下巻に分かれており、生徒の成長に合わせた学びを展開している。富嶽三十六景『神奈川沖浪裏』が実寸大で掲載されている。
2	・神奈川県所縁の作家について紹介されている。
3	・1、2、3年と学年にあった学びを位置づけた3冊の構成がよい。 ・図版の大きさ、美しさ、仕掛けは生徒の興味関心を引き出す。 ・タイトル、多くの作品・生徒作品が充実しており、生徒が制作をする上で参考となり、刺激となりそうである。
4	・写真が見やすく本校の生徒の実態に適している。
5	・地域の文化や伝統芸能に触れており、美術と社会の関わりや地域を活性化させる着眼点を得やすい。 ・神奈川所縁の作家にも触れている。
6	・現在使用している美術資料集との併用を考えると、資料集の内容を詳細に解説できるので、使い勝手が良い。
7	・表現、鑑賞など区分され取り組みやすい。 ・資料のページが充実している。 ・細かい部分に工夫や配慮がある。 特にこの3点は、多様性のある生徒にとっては適していると思われる。
8	・地域や身近な自然などについて調べ、グループで話し合うというような対話的に進める課題が設けられている。参考作品の図版が大きく、説明が簡潔でどんな生徒にも理解しやすい工夫がされている。
9	・神奈川県の作家など取り上げられていて身近である。 ・UDフォントを使い特別支援教育の観点にたち、ユニバーサルデザインに対応して、全ての生徒に読みやすくしている。図版も大きく多く見やすい。
10	・生徒たちにもなじみ深い著名人からのコメント等もあり、身近な感じがする。
11	・教科書に掲載されている作品の幅が広く、豊かな発想につなげやすい。また、指導者の指導法の幅も広くとれるよう配慮した編修となっており、より柔軟に多角的に指導を行いやすい。 これらのことから、芸術に関して一定の理解と素養のある本校生徒にとって、将来的に豊かな美術的知性をはぐくむのにより適しているといえる。
12	・作品の実践例を多数挙げているため、生徒の作品の表現に幅をもたせることができる。
13	・楽しそうな制作風景の写真が多く、立体制作に熱心な本校生徒が意欲を持って取り組めそうな工夫が見られる。また制作のポイントなどが詳しく説明されており、参考資料集などが用意できなくても授業を進める上で支障がない。
14	・資料が大きく、説明がすくないので各自で想像しながら作品に取りかかることができる。 ・アーティスト自身の発想の課程が描かれていて、参考にしやすい。 ・生徒にとって身近な題材を使用していることにより、興味を引きやすい。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

保健体育

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成					2.分量・装丁・表記等					3.保健体育の観点					4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連				
	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育からい		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育からい		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育からい		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育からい	
1			○	○				○	○				○	○				○	○	
2			○	○				○	○				○	○				○	○	
3								○												
4			○	○				○	○				○	○				○	○	
5			○	○					○					○					○	
6			○	○				○	○				○	○				○	○	
7			○	○				○	○					○				○	○	
8			○	○				○	○				○	○				○	○	
9				○					○										○	
10				○					○					○					○	
11				○					○					○					○	
12				○					○					○				○	○	
13				○															○	
14			○	○				○	○				○	○				○	○	
15				○					○										○	
16				○					○					○					○	
17				○					○					○					○	
18			○	○				○	○				○	○				○	○	
19				○					○										○	
	6	8	14	12		6	9	11	12		5	6	11	9		3	4	10	9	

その教科書が適切である理由	
3.保健体育の観点	
<p>①イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。</p> <p>③生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①資料の内容も多く、大きく示されている。 ・②他者と意見を交換する記述があった。 ・③写真などでオリンピックやパラリンピックなどがわかりやすく明記されていた。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の太字で書かれた大切な部分の細かな説明がある。 ・後ろに用語解説がついていることや資料イラストが見やすい。 ・「呼吸器・循環器の発育、発達」がとてもわかり易く、見やすく書かれている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提示 考えさせる 課題解決 まとめの構成がわかりやすい ・自宅でも予習・復習ができるようにデジタル教材のURLが載っている。 ・教員用のデータベースもあり、イラストや写真の活用がしやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が明記されていて、その解決方法が記載されている。構成が工夫されている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって学習内容が分かりやすくまとめられており、学習課題を自分事としてとらえさせようとする工夫がみられる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	イラストが多く生徒が見やすい
2	生徒が扱いやすいサイズであること。 わかりやすくまとめられているので、扱いやすい。
3	文字や情報量、イラストの色使いなど、視覚的な刺激に弱い生徒でも使いやすく、適切な教科書である。

その教科書が適切である理由	
3.保健体育の観点	
①イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。 ②生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。 ③生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ①データも多く載せられていて大きく見やすい。 ②他者と意見を交換する記述があった。 ③健康の保持増進についての記述のみならず、イラストも良かった。
2	<ul style="list-style-type: none"> 資料がはっきりとしていて見やすい。 生徒の興味付けには役立つと思われる。 写真やイラストが多く、イメージしやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 「つかもう」が主体的な気づきを促し、課題を発見するに適した発問になっている。 学習課題や重要点が明確化され、イラスト、写真、図表で本文を補っている。
4	<ul style="list-style-type: none"> イラスト、写真、資料、事例等がわかりやすく作られていると感じました。また、課題を発見して、考える活動も例として書かれており、その点も良いところだと思います。
5	<ul style="list-style-type: none"> 左に文章、右に参考資料と統一され、情報の処理がしやすい。生徒が生涯にわたって運動にかかわっていくような例示がわかりやすく説明されている。
6	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を具体化した資料が豊富に掲載されており、情報活用能力を育成する編修となっている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 写真も多く掲載されていて興味を持ちやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害が詳しい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 左側にその単元の文章が書かれているページがあり、右側にその単元に関連する資料があるというのが、開いてすぐわかる・見やすいという点で非常に良いと思いました。今の生徒たちの実態を考えてみても、文章と資料が複雑に入り混じっているよりも、視覚的にも優しくわかりやすいと感じました。また、教師側でも、教科書を開く際には、「この資料を見てみよう」「この文章を読んでみよう」という指示を子どもたちにするとときもお互いがわかりやすいかなと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> 支援の必要な生徒にとって、よりシンプルで視覚的にわかりやすい。

その教科書が適切である理由	
3.保健体育の観点	
①イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。 ②生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。 ③生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①現行の教科書よりも大きく載せられていて見やすい。 ・②他者と意見を交換する記述があった。 ・③興味を持つことができるようなイラストがあった。
2	<p>太字になっている大切な部分の細かな説明がある。 後ろに用語解説がついていて使いやすい。 「医薬品の正しい使い方」の資料やイラストがとてもわかり易く、書かれている。</p>
3	<p>・イラスト・写真が適度に掲載されており読みやすく、生徒が見て想像しやすい図や説明が多い内容である。健康・安全について必要なポイント等が押さえられている。身近な題材で課題作成しており、取り組みやすい内容である。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と図表のバランスが良く、見やすい。 ・資料が見やすく、説明がわかりやすい。 ・「課題をつかむ」から、生徒自身の思考・判断する力を育むことができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・資料がはっきりとしていて見やすい。 ・生徒の興味付けには役立つと思われる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が見やすく、最新の資料なので、自他の課題発見・解決に役立ち、活用しやすくなっている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」という導入は、とても活用が出来るそう。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト・写真・グラフがわかりやすく、レイアウトも見やすい。 ・「章のまとめ」の問題が適切でわかりやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストやデータなど資料が見やすく、わかりやすい。 ・単元の始めに課題を意識させるような発問があり、導入から展開への流れが良い。 ・章末問題があり、習得内容の復習によい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の経験を振り返るなどの考える課題もあり、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がされている。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・図解や解説などが充実しており、他の教科書に比べて一項目を細分化して記載してあるところに魅力を感じた。また、内容が充実していることから、興味を引くための質問がしやすいと感じた。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にわかりやすい大きなイラストが多かった。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に適切な資料やイラストがバランスよく入っていることから、本校の生徒にとって適していると考ええる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生向きであり、取り組みやすい内容である。イラストや写真が適度に掲載されており、それについての説明も記載されているため、生徒が教科書を見る際に、より理解が深まると考えられる。またそれにより、生徒が自分で学習する際も他の教科書よりも理解しやすいと考える。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・図表が大きく、読み取りやすい。 ・文章が、短くまとまっている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・章のまとめがあり、学習に役立つ。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容や伝えたい内容が太文字になっていて生徒が分かりやすい。文章間も窮屈でなく詰め込みすぎでない印象を感じる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・体育分野の実技書で、使っている出版社なので見慣れているレイアウトである。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの見やすさが、本校の生徒の実態に適した内容である。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒が主となる授業の展開という観点からすると、大修館の発問形式の内容はとてもよい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が多く興味をひきやすいため、本校の生徒の実態に合っていると考える。

その教科書が適切である理由	
3.保健体育の観点	
①イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。	
②生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。	
③生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①詳しいイラストが記載されていて説明しやすい。 ・②他者と意見を交換する記述があった。 ・③用語について詳しい説明書きがされていて、興味を持ちやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされており、生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられている。また生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うような知識が多く掲載されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト・写真が多く、例を挙げて話をする際に利用しやすい図が多く、生徒が受けやすい単元になっている。身近な題材等の資料で自他の対話の中で深い学びができそうである。補足やコラム等で心身の健康を保持増進できる内容である。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真、事例などの資料が分かりやすく、理解や課題解決に役立つような工夫が感じられる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」という導入は、とても活用が出来るそう。 ・性教育の分野について、とても丁寧に扱っている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活における健康の保持増進に必要な知識が書かれている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が、思考・判断しやすく他者に表現活動できる構成になっている。また、資料やイラストなどが活用しやすくなっている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの色使いが優しい。 ・「課題をつかむ」で生徒が考えやすい問いで、学びを深めやすい。また、授業の流れが教科書から読み取ることができ、先を見通した活動ができる。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・導入からまとめまでが丁寧に進められる教科書であり、生徒が理解しやすいように図や資料が詳しく載せられている。資料が新しいもので構成されている。後半、知識を理解した後に、思考判断を深める実践などもあり、生徒が主体的に考えて授業を受けることができる教科書であるとする。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が多く記載されていて、学習しやすいと感じた。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒の実態に適した内容である。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章にルビがふってあり、漢字が苦手な生徒にとっては文字へのハードルが低く、学習に取り組みやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の研究のサブテーマである「簡明な質問と指示により、探究させる授業づくり」に沿った学習に取り組みやすい内容となっている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい構成であるため、本校の生徒の実態に即している。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト・図・写真が多く掲載されており、視覚的に捉えることができる内容になっている。文字の認識が苦手な生徒や外国につながる子どもがいる中では、非常にわかりやすい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育の部分がLGBTに配慮した表現になっており、よりよい社会の形成を目指す、本校の生徒への教育に適切であるとする。 ・河川が近いので、風水害についての内容が適切に取り上げてある。 ・不審者対策をしている中で、犯罪被害の防止についての内容が生徒が考えていけるようになっている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・資料やイラストが活用しやすいと思う。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・体育分野の実技書で、使っている出版社なので見慣れているレイアウトである。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

技術・家庭(技術分野)

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成						2.分量・装丁・表記等						3.技術の観点						4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連					
	発行者 名称	東京書籍	教育図書	開隆堂	東京書籍	教育図書	開隆堂	東京書籍	教育図書	開隆堂	東京書籍	教育図書	開隆堂	東京書籍	教育図書	開隆堂	東京書籍	教育図書	開隆堂					
1		○						○						○				○						
2		○						○						○				○						
3			○					○						○				○						
4		○	○					○	○					○	○			○	○					
5		○						○						○				○						
6		○		○				○		○				○				○		○				
7		○		○				○						○				○						
8			○					○						○				○						
9		○	○					○	○					○	○			○	○					
10		○						○						○				○						
11			○					○						○				○						
12		○	○	○				○	○					○	○			○	○					
13		○	○	○				○	○					○	○			○	○					
14		○						○						○				○						
15			○											○				○						
16		○	○	○				○	○					○	○			○	○					
17		○	○					○	○					○	○			○	○					
18		○						○		○				○				○	○					
19				○						○					○				○					
		14	10	7				14	7	7				13	7	5		11	7	3				

その教科書が適切である理由	
3.技術の観点	
①実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。 ②「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。 ③既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の構成順序が工夫されており、理解しやすい。 各ページに「技術の工夫」欄があり、生徒の興味関心を高める工夫がされている。 情報モラルに関する事例が豊富。
2	<ul style="list-style-type: none"> 実習の作業手順や道具の名称など写真やイラストなどで示しており、自分で確認しながら作業を進めることができる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 全ての内容において、仕組みの理解から問題解決学習、そして技術の評価へと流れが統一されている。また、問題解決においては、様々な学習例が掲載されており、学年などの習熟度によって展開の仕方を選択できるようになっているため、思考力・判断力・表現力の育成を図るために使いやすい構成である。さらに生徒の興味関心を広げる、デジタルコンテンツは前回よりも充実し、技術の見方・考え方を幅広く働かせる構成になっている。
4	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的な深い学びを進めていくうえで、その基礎となる知識や概念の説明、または身の回りにあたりまえにある技術についての疑問の問いかけが、要所で適切に入れられている。
5	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的知識や技能の取得が活かしやすい構成になっている。
6	<ul style="list-style-type: none"> 限定的な内容でなく、多くをカバーできる内容が素晴らしい。特に考えさせる場面を多く取り入れ、扱いやすい教科書である。又記載内容を厳選し、分量、配分等偏らないように的確に編修してある。
7	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの観点に対して配慮された内容になっている。
8	<ul style="list-style-type: none"> プログラミング教育に関して、今までの教科書では購入しなくてはならないものを紹介していた。この教科書では、教材を購入しないと扱えない項目が少なく、PCさえあればできる「Scratch」を別紙でも紹介している点でよいと思った。他の2冊と見比べて、東京書籍が一番読みやすく、最新の技術も豊富に掲載されていた。課題解決に関しても、挿絵などから想像しやすかった。課題解決能力を育成しやすかった。
9	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識及び技能の習得をするための図が多く、視覚から得られる情報が多かった。情報に関する技術の分野が見やすかった。
10	<ul style="list-style-type: none"> 「TECH Lab」で技術の習得がまとめられている。章ごとに「私が開発者！問題解決カード」で思考・判断・表現する場が設けられている。技術の最適化の例も載っており、「技術の見方・考え方」が社会でどのように役立てられているかの実例を見ることができる。その中で既存の技術の理解や問題を見いだす機会もある。
11	<ul style="list-style-type: none"> 回路設計において写真入りで掲載されている例を選んでいくと、設計の概要が決められる点が良い。また、設計の概要も見開き2ページにまとまっていて考えをまとめやすいと考えられる。
12	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を通して知識や技能を習得できるとともに、過去や最新の技術を通して現在の生活の中から問題点を見つけて解決法を考えることができる。そのため、技術の3つの観点をバランスよく満たしていると思われる。
13	<ul style="list-style-type: none"> 圧倒的な情報量と、他分野へのつながりや発展へのアプローチが明確である。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 別冊の「プログラミング手帳」がゲーム感覚で作られており、本校の生徒にとってもわかりやすい。 写真やふりがなが多用されており、生徒の能力に関わらず理解できるように工夫されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 各内容で防災に関する学習が充実し、地域防災についての題材が扱われている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 在校生にとっては、旧教科書の内容を踏襲した構成になっているので、わかりやすいと感じる。
4	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な内容で網羅してある面が扱いやすい。生徒も考えて判断できる授業を目指すためにこの教科書は的確である。
5	<ul style="list-style-type: none"> 本校の生徒の実態に即した内容である。
6	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。興味関心、発想力豊かな学校なので、本校の生徒には合っている。また、新たに教材を購入する必要がなく、学校にすでにあるもので、授業を展開することができる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味をひく図が多く、視覚から得られる情報が多かった。
8	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用していて、生徒一人ひとりに見やすい文字や写真、色などが使われている。ページ下部に「技術の工夫」のコラムがあり、短文で技術に関する知識を得ることができる。「技術の匠」では生産者などの声が載っていて、既存の技術や将来の技術に触れる機会が多くあり、より身近に技術が感じられる内容になっているため、本校の生徒も興味を持って学習に取り組むことができると考える。
9	<ul style="list-style-type: none"> 見開きが目次で使いやすい。外国籍など日本語がうまく使えない生徒にとって、同じページにある語句にもふりがなが、その度に記載されている点が生徒にとってわかりやすい。 課題などを考えるツール例がいくつも明示されている点が良い。
10	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な活動をするのにあたり、図や写真の内容が授業に沿った具体的なものであるとともに構図もわかりやすく視覚的に興味を引き、わかりやすいものとなっている。そのため、作業時の参考となり、知識を深めるのに役立つ部分が多いと思われる。
11	<ul style="list-style-type: none"> 情報量が多く、どの地域においても、居住地域との関連が可能である。

その教科書が適切である理由	
3.技術の観点	
①実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。 ②「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。 ③既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラスト・図などが非常に効果的に使われており、思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がとても感じられる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされている。 ・既存の技術の理解を図る学習過程を大切に、課題を設定し解決する力を養う学習過程もよく取り上げられている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的な深い学びを進めていくうえで、その基礎となる知識や概念の説明、または身の回りにあたりまえにある技術についての疑問の問いかけが、要所で適切に入れられている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・図などが多く、視覚的にわかりやすく構成されている。 ・思考力や技術の見方・考え方等も対象の比較など、工夫されている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・技術科は、小学校、高等学校はなく中学校のみであり、また、少ない時間の中でこの世の中の生活に関する基本的な技術を習得することが大切である。このようなことをふまえた上で、生徒の目線で教科書を見ると、技術科という教科はどのような学習をするのか、何が大事なのかどの項目も写真や絵などが入り大変わかりやすく、実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得ができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・右ページに二次元コードがついており、動画での説明や解説がすぐに扱うことができる工夫がなされている
6	<ul style="list-style-type: none"> ・工具についての説明や実践の手引きがあり、わかりやすく指導していきやすい内容に感じたから。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野で、(一章)つくって遊ぼう、(二章)じっくり学ぼう、(三章)学びを深め生かそうと分けてあり、基礎知識を学び、それを発展させて考え、さらに社会でどのように役立てていくのかがわかりやすく工夫された構成となっている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・図・イラスト・写真なども豊富で、この教科書ならば本校の生徒も興味・関心を持って取り組めると思われる。内容の充実したハンドブックもとてもよい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・作業方法や例題等が多く、視覚的にわかりやすいので、本校の生徒の実態に適していると感じる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・限定的な内容が多く扱いにくい面も多々あるが、教える側の立場で扱いやすいかもしれない。考える力をつけるには、扱い方を工夫しないとけない教科書ではある。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒の実態や地域等の特性との関連ということでは、教科書の内容がわかりやすいということが、教科書等を見て自分で興味をもって学習をする大切さを理解できるのではないかと思われる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の地域に関する記載が多く、話題提供がしやすい構成となっている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が理解しやすい工夫がされているため、指導しやすいつと感じた。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成分野においてプランターを使った実践例を多く扱っている。市内ではスペースや校内に植えられる期間が決まっている学校もあり、プランター等で実習することが多くあると思うので、地域の実態に合っている。

その教科書が適切である理由	
3.技術の観点	
①実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。 ②「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。 ③既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
1	・文字やイラスト、写真などの大きさが良くて全体的に見やすいので、視覚から情報認識しやすい生徒向けである。
2	・主体的・対話的な深い学びを進めていくうえで、その基礎となる知識や概念の説明、または身の回りにあたりまえにある技術についての疑問の問いかけが、要所で適切に入れられている。
3	・観点の扱いやすさと、配分で、限られた時間数で扱える内容である。
4	・最新のテクノロジーについて、新指導要領に沿った内容で記載がある。
5	・きり、釘抜き、ねじ回しの使い方の写真などに矢印がかかかれている点が良い。また、トレードオフの考え方を設計に入れている点が良い。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・様々な生徒が多くいる中では文字やイラスト、写真などを使って説明するのに一番理解しやすいと思った。
2	・文字・図などの量が、生徒が使用するにあたって抵抗が少なく、構成が見やすく作られている。 ・作業をする流れがわかりやすく、作業のスピードに違いが生じても生徒が自ら教科書をみながら進めていきやすいようになっている。
3	・農家の多い地域のため、土壌栽培のような歴史のある技術には関わりがあるが、水耕栽培や、AI、IoTのような最新の情報分野については疎い生徒が比較的多い。そのため、これからの生活につながるような最新情報を写真や図で多く記載のある開隆堂の教科書が本校には適切であると判断する。

令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけてあります。

技術・家庭(家庭分野)

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成				2.分量・装丁・表記等				3.家庭の観点				4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連			
	東京書籍	教育図書	開隆堂		東京書籍	教育図書	開隆堂		東京書籍	教育図書	開隆堂		東京書籍	教育図書	開隆堂	
1	○	○			○	○			○				○			
2		○			○				○				○			
3	○				○				○				○			
4		○	○		○	○	○		○	○	○		○	○		
5	○		○		○		○		○				○			
6	○	○	○		○				○				○			
7	○	○	○		○	○	○		○				○			
8	○		○		○				○				○			
9			○				○		○	○			○	○		
10	○				○				○				○			
11	○		○		○				○	○			○		○	
12			○				○			○					○	
13	○				○				○				○			
14	○	○			○	○			○				○			
15	○				○				○				○			
16	○				○				○				○			
17	○				○				○				○			
18	○				○				○				○		○	
19	○	○	○		○	○			○				○			
	15	8	9		15	7	5		14	4	4		14	4	5	

その教科書が適切である理由	
3.家庭の観点	
①実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。 ②「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。 ③既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・導入部分が使いやすそう。・防災手帳が付録としてあり、授業で目にする機会が増え、とても良い。 ・支援級の生徒も家庭科は交流することが多いので、UD化されていて、とてもわかりやすい。 ・写真とイラストのバランスが良く、丁寧な描写や解説が載っている。(実物大写真もわかりやすい) ・SDGsについての内容が盛り込まれていて、現在の社会情勢に対応している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の流れがわかる内容構成になっている。 ・主体的、対話的な学習に発展しやすい発問があり深い学びができる。 ・持続可能な社会の実現のSDGsの取り組みが各編の最終節と結びつけられる。
3	文章で書かれている内容について、図を用いてまとめてあるページが多く、視覚的にわかりやすい。 食材や幼児の持ち物について実物大の写真があり、大きさや量的なものを想像しやすい。 調理の実習例や裁縫の基礎技能について、見開きでわかりやすく写真や図を使ってまとめている。調理実習レシピの数が適切であり、履修が新設された調理方法についての記載もわかりやすい。
4	①被服実習の例が豊富で、難易度も表記されているので、自身のレベルに合わせて挑戦できる。 ②見方・考え方の深め方の例が書かれているので、どんな内容を学習するのかイメージしやすい。 ③課題の決め方や進め方、発表の仕方が具体的である。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのまとめりとそれぞれの関わりが、分かりやすく丁寧に示されている。 ・包丁の使い方や野菜の切り方など、写真も多く実習の際に扱いやすく、生徒にとっても分かりやすい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・文章・写真のバランスが良く、見やすくなっていて、知識・技能の習得に効果的である。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の生活様式に合った記述が豊富。(通信販売、防災) ・和服文化、和食文化に関する記述も充実しており、文様など興味の引く内容になっている。 ・新たに学習指導要領にもある「蒸す」料理が複数載っている。 ・見やすいえにめがねや防災手帳など補助教具が充実している。 ・持続可能な社会に向けた現代社会の流れもわかりやすい日本語で書かれている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが見やすく量が適したものになっている。また、写真・イラストと文章の割合がよいので、知識・技能の習得につながる。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・「子供視界体験めがね」など、体験して学習する工夫がされている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の折り込みページが丁寧で、生徒に伝わりやすい。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・実習例で手順が詳しく書かれており、掲載されている内容も多い。「活動」で思考・判断・表現する機会が設けられている。生活の中の課題や、よりよい生活を送るためにどのようにすれば良いかを考える機会が設けられている。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元ごとの資料の表示や大きさなど、ほどよい量と大きさと文字も見やすい。 ・食物、住居、被服、保育の教科書の並びが使いやすい。 ・自身で振り返りのできるまとめワークがある。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成され、発展的に学べる工夫がある。「いつも確かめよう」のページに確実に身につけたい技能がまとめられ基礎的な知識および技能が身につく作りとなっている。他教科や小学校での学習内容との関連が、わかりやすく明示され、教科横断的な学習が可能となっている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得につながる情報量が多く、教科担任にとって授業の工夫がしやすい構成になっている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・地域との関わりの重要性が多方面から掲載されている。本校は地域との関わりが多いので、他地域との比較もでき、今後の交流の工夫も考えることができる配慮がある。
2	・授業の流れがわかりやすい。 ・写真、実習の手順、デジタルコンテンツが豊富にあり生徒が理解しやすい。 ・「食生活」から始まる構成になっていて、生徒が親しみやすく、スムーズな導入が図れる。
3	・巻頭に書かれた分野が食生活であり、本校では食生活を1学年で履修するので、教科書の始まりと入学後すぐに学習する内容が一致していて取り組みやすい。また、本校は家庭がしっかりした環境の生徒が多い。ガイダンスのページで、家族・家庭の基本的な機能についてふれており、自分たちの恵まれた環境に感謝し中学生としての自立を目指す学習であることを確認させることができるのではと考えた。
4	・加熱機器(ガスコンロ・IH)の種類や特徴(P.61)がまとめられているので、家庭や学校の実態に合わせて指導しやすい。 ・Dマークのあるところは、動画が多く収録されているので、繰り返し再生し、確認ができる。
5	・文字だけでなく、多くの写真が使用されており、非常にわかりやすい。また、写真一つひとつも色づかいや明るさが良く、興味・関心を引くものとなっている。
6	イラスト、写真が見やすく、必要なところは実物大で利用しやすい。
7	・図や写真も大きく、字の大きさも適度で見やすい。色覚に心配のある生徒でも見やすいように思う。 ・実生活との関連性を感じやすい内容も多く、身近に感じやすい。 ・また、体験型の教具が付いていることでより理解を深められるように思う。
8	・写真やイラストが生徒にとって見やすくなっている。
9	・図や写真、イラストが多く掲載されていて、わかりやすい。
10	・消費者問題のページ等、中学生にとって身近な内容が取り入れられておりわかりやすい。
11	・写真やイラストが見やすく、「資料」では興味を引く内容が載っているため、本校の生徒に適切であると考ええる。
12	・見開きに目次があるので生徒にもわかりやすい。 ・実習例など参考にできるものがあり、身近にある材料を提示している。
13	・実物大の写真で示すなど、学習内容についての課題意識を持たせるようになっている。卒業後も生活の参考書として生涯活用できるよう、写真やイラスト・図・表が豊富で読みやすく魅力的な作りとなっている。
14	・参考作品の掲載も多く、生徒の興味関心を引きやすいと感じる。

その教科書が適切である理由	
3.家庭の観点	
①実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。 ②「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。 ③既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真が多く、生徒の興味関心を引く。 ・生徒が主体となり、身の回りの生活や社会から問題を見だし解決できるための作業の流れがわかりやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味関心意欲を引き出す内容が多岐に渡っており、それぞれの説明が大変わかりやすい。また、写真や図なども明確である点も良い。体験的な活動についても細やかな明記があり、生徒にとっても理解しやすい内容である。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・右の二次元コードで動画を見せながら、説明などできるので。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」などのワークを活用したアクティブラーニングを取り入れた授業展開が期待できる。見方、考え方を働かせることを目的とした「課題設定のヒント」が掲載されており、習得した知識や技能を生活へフィードバックするよう工夫されている。各単元において「見つめる→学ぶ→振り返る」という流れで課題解決について取り上げられており、習得した知識や技能を生活や社会に活用することがイメージしやすいように構成されている。全体を通して課題解決学習の流れが統一されている。既に小学校で学習した内容や他教科とリンクする内容にマークがあるため、学習内容の関連性に気がつき、より発展した学びの定着が期待できる。授業者は生徒の様子を知り、現状にあった授業内容を工夫できる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・分野や単元ごとに多数写真が使用されていることで生徒がイメージしやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒達が自分自身の生活をふりかえり、実際に実践できる内容が多く掲載されている。また、基礎基本の表記も明確であり、多くの生徒が理解しやすい内容であると考ええる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対策が記載されており、日常生活の中で取りあげやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード読み取りで見ることができる動画が視聴覚教材として高い効果が期待できる。特に手元が大きく映し出される裁縫や近年交流が難しくなっている幼児とのふれあいに関する動画は昨年度導入していただいたタブレット等を使い有効活用ができる。

その教科書が適切である理由	
3.家庭の観点	
①実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。 ②「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。 ③既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
1	・表記が明確で、理解しやすい点は素晴らしい。また、料理の写真などが大きく映し出しているとともに、その素材の新鮮さやおいしさが伝わってくる。全体的に写真が美しく、生徒の興味関心を引き出しやすいと思われる。また、レシピの内容も生徒が理解しやすい内容であり、家庭で実践したいと思わせる内容が多くて大変良い。
2	・高校の学習内容から中学においてきた高齢者との関わりに関するページが充実している。 ・現代社会の問題点を意識させる記述が豊富。(ワーク・ライフ・バランス、ファストファッション)
3	・各単元において目標から振り返りまでの一連の流れがパターン化されており、扱いやすく学びやすい構成となっている。持続可能な社会の実現へむけ、衣食住の学びを通じ、社会の一員としての見方と考えを持つことができるように各単元でこのテーマが掲載されている。巻頭10ページに掲載されているガイダンスでは3年間の学習内容の流れに加え、生活の土台としての「自立」と「共生」についても触れ、これからの生活に展望を持つことができるよう工夫されている。
4	・今までなかった消費者教育で収入と支出のバランスについてことがしっかりのっていた。 ・日本の伝統柄がのっていることがよかった。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・電子レンジを使った時短レシピがあり、家庭でも応用しやすいよう工夫が見られる。 ・調理方法Q&Aで調理理論を学習できる。
2	・全体的には図や写真なども含めてわかりやすい内容である。また、大事な言葉などがはっきりとわかるようになっている。
3	・今後の社会を担っていく生徒にとっては知ってほしい内容や考えてほしい内容が充実している。 ニュースや新聞の内容と関連を持たせるためにはよい教科書であると思う。
4	・二次元コード読み取りで見ることができる動画が視聴覚教材として高い効果が期待できる。食生活分野の実験動画が特徴的で昨年度導入していただいたタブレット等を使い有効活用ができる。防災教育については住生活の単元の他に巻末にも取り上げられており、過去の津波災害等の事例をあげ、いざという時のために主体的な判断力と地域と協力する姿勢を育む内容となっている。
5	・写真や絵が見やすい。

その教科書が適切である理由	
3.英語の観点	
<p>①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	・題材の選び方や文化的背景にふれられているのが良い。
2	・4技能、コミュニケーションを図る資質・能力が総合的に育成できる。Lessonの流れになっている。 ・国際理解の内容が適切である。
3	・小学校から継続した学習ができるような工夫や配慮がみられる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・Previewのページを使って単元が導入しやすい(①) ・小学校と関連した単元がわかりやすい(②) ・内容も生徒が興味をひくような様々なテーマを扱っている(③) ・長文問題は学年が上がるにつれて量が適切になっている(①) ・それぞれの文法や表現を使う、場面がとても明確である(①) ・少しずつやりとりを取り入れられる(場面設定がクリア)(①) ・Activityのページがバラエティに富んでいる(①)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い内容が扱われている(③) ・会話やディベート、表の読み取り等、内容が豊富(①) ・様々な題材や会話文が盛り込まれており、工夫されている(①) ・それぞれの目標とゴールがとても明確である(①) ・使えるようになった上で、本文が学べるようになっていて、言語の習得に適している(①) ・長文の分量が程よい(①) ・題材がイメージしやすく、考えながら読めるもののように感じる。(③) ・わかったことや伝えたいことを考えて書かせる物や、本文について穴埋めをさせるなど、段階を追ったものであり、取り組みやすい(①)
5	・言語活動が多岐にわたっており、様々な活動の中で生徒が学習できる作りとなっている。また、学習内容が充実しており、バラエティに富んだアプローチが可能である。1つのページの中に5領域がつながって載っており、複数の領域を連携して活動に取り組むことができる。国際理解につながる題材として、幅広い分野の題材が取り上げられている。
6	・コミュニケーションの目的・場面・状況が明確なタスクが多く、ターゲットの英語表現を使用する場面がわかりやすい。
7	・会話表現が特に多く、生徒の意欲が高まりそうであるため。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・①Unitでは、目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用しながら文法の学習を行うことができる。Stage Activityでは、複数の技能・領域を統合的に活用し、自己表現を行うことができる。Let'sシリーズでは、よりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばすことができる。 ・②1年生では小学校との円滑な接続のために十分な期間(Unit 0～5)があり、小学校の音を中心とする学習を受けとめ、中学校における4技能5領域の力をバランスよく育成する学習へと移行できる構成となっている。 ・③題材や人物の出身国は、英語圏だけでなく、できるだけ多様な世界の国々から設定されている。それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりできるようになっている。3年では特に、日本以外のアジアやアフリカの国々を多く取り上げている。
9	・国際理解を深めることにつながる題材が多く取り入れられているから。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・題材の選び方や文化的背景にふれられており、親近感を感じるので使いやすいように思える。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れがわかりやすい。 ・写真や挿絵が本文理解において適切である。
3	・各分野、内容が充実している。内容や活動が多く、理解力のある集団に向いている。
4	・生徒にとって、小学校からの接続が円滑になるような作りとなっている。
5	・本校の生徒はアウトプット(話す・書く)活動に課題があるため、毎日の表現を扱ったスピーキング活動が含まれていることや言語使用の場面が分かり易く、生徒が使用しやすいと考える
6	・インターネット電話で海外姉妹校の生徒とビデオチャットをするシーンや、スマートフォンを使って電話や、記念写真を撮るシーンなどが扱われており、時代に合わせた作りで、また、本校の生徒の興味・関心を引くようなものである。絵や写真、配置の仕方など、生徒の興味を引きやすい構成になっている。
7	・時制の説明が図で描かれており、視覚的にわかりやすく示されており、時制の概念が苦手な生徒が多い本校では適切だと思われる。
8	・小学校での使用教科書会社のもので、小中接続が円滑である。

その教科書が適切である理由	
3.英語の観点	
<p>①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の3つの柱ごとに、段階的に力を伸ばしていけるよう構成されており、基礎学力の向上を図ることができる。 ・新しい文法の活用場面から始まり、listening、thinking(writing)、retell(内容整理)、interact(やりとり活動)という順に構成されている点も、言語の習得理論の面からも生徒の学習に適していると感じる。Tryとして、発展的な発問のヒントも載っており、様々な段階の学習に活用しやすい。 ・辞書の使い方が全学年、巻頭ページにあり、自学自習の助けになる。 ・読み物課題に日本語で慣れしただ絵本を取り入れているいたり、歴史をテーマに扱っているものがあり、教科学習で終わらない工夫がされている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・Scenes→Think→Retell→Interactの構成となっており、5領域がバランスよく学習できると同時に、統合的な力の育成も図れるよう工夫がなされている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・Scenes→Think→Interactの流れが良い(①) ・テーマに沿ってやり取りに発展させられる(①)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの目的・場面・状況が明確で、自分の気持ちや考えを発信する場面が多い。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートにシーンの設定があり、実際のシチュエーションをイメージすることができる。 ・ピクチャーカードがついており便利。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法が出るごとに、活用場面が明示されており、生徒が理解しやすい。 ・構成が段階的で基礎学力向上を図ることができる。

その教科書が適切である理由	
3.英語の観点	
<p>①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の量が適切である。 ・絵や写真がはっきりしており、言語の使用場面や言語の働き等に配慮し見やすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解を深めることにつながるような内容を取り扱っており、とてもよい。 ・partごとに、学習のポイントが明確でわかりやすい。 ・構成がword, text, listen, talk&write, drillの順になっており、新出知識の習得から活用へステップがしっかりと組まれている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との接続がスムーズになっている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の進め方や文法事項の進め方が一番自然である。特に次年度から新たに導入される「仮定法(3年の最後)」や「現在完了進行形(3年の最初)」の導入が工夫されている。三省堂のみが「現在完了」が2年生で導入されている。また、基本的に今まで使っていたので、生徒が理解しやすい内容である。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・「listening, reading, speaking, writing」の各活動がバランスよく組み込まれているから。 ・単元のうしろに確認ページ(文法の)があったりと、整理しながら進めるのに適していると思ったから。 ・ポイントが整理されていて、何をねらいとしているかわかるので授業で扱いやすい。英文の量も適切。トピックもおもしろい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、絵が大きく鮮明である。扱っている題材が、学校生活、社会、自然科学、異文化理解など多岐にわたっている。 ・4技能が上手く配列されていてコミュニケーション能力を総合的に育成できるようになっている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・各章ごと、かつ観点別に言語の使用場面や活動内容がより具体的に示され、使いやすそうに感じる。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に、幅広い内容が扱われている(③) ・長文が良い(③) ・様々な題材や会話文が盛り込まれており工夫されている(③)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の意図が明確で、ねらいがはっきりとしている。学習内容について、焦点がはっきりしている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者にとって話題が年齢相応であり、適している。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞く」→「話す」→「読む」→「書く」の流れがパターン化されていてわかりやすい。 ・イラストや文字の大きさや配置のバランスが良い。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・話す、書くことの場面が多い。また、やりとりを重視している。 ・国際理解を深めることにつながるように様々な国の紹介がありよい。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく情報量がちょうど良い。 ・生徒にとって興味を引く内容になっている。 ・国際理解が深まる内容を扱っている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・会話表現が現実在即している場面が多く見られるため。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・①Lesson, Take Action! Talk, GET Plusにおいて、多様な言語の使用場面、さまざまな言語の働きが扱われている。また、各Lessonの日本語リード文やイラスト、USEのタイトル、Take Action! Talkのタイトルやイラストで場面が明確に示されている。 ・②1年の導入のHello, Everyone!とStarterでは、小学校で体験した聞くこと・話すことの活動を受け、設定された場面や状況に応じて、自分のことや、日常生活に関する身近で簡単なことについて聞き取ったり、話したりすることができる。 ・③題材として、日本の伝統文化と自然科学がそれぞれの学年に配置されている。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションをはかる力を育成できるように配慮されているから。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを利用した学習が家庭でもできる。 ・題材が興味を持ってそうな内容のものが多い。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が生徒達にとって興味深いものである。 ・partごとに、学びのポイントが明示されているため、生徒が学びに向かう意欲がわきやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の知識がベースにある活動が多いので、応用力を高めることに意識がある地域なので適している。
4	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲が高く、様々なトピックスに興味を持って取り組むことのできる本校の生徒に適していると考え。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・文章量や図や絵が見やすく、本文内容がシンプルであり本校の生徒に適している。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒達は、英語を使いたいという気持ちが強いので、各章の活動はやりやすいと思われる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の授業で扱う分量として、妥当と思われる。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・PCでウェブサイトを見たり、FMラジオを聴いたり、電話で話しているシーンが扱われている。また、アニメなども扱われており、本校の生徒の興味・関心を引くようなものである。新文法のPointが見やすく、わかりやすい。また、右ページのドリルにつながっており、簡単に口頭練習ができる。スローラーナーにも取り組みやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・平和教育などをおこなっているため、トピックとのつながりを感じられる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が多く活用されており、場面がイメージしやすく、学習への動機づけになる。見開きで4技能が習得できるような展開になっている。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生が興味を持って取り組みやすいと思われる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる生徒が本校には多数在籍しているので外国と日本の伝統文化を関連付けながら学ぶことができる。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・現在使用している教科書会社のもので、大枠の構成が同じなため接続が円滑である。 ・知的好奇心旺盛な本校生徒の興味・関心・発達段階に即した題材の選定・配置になっている。 ・USE、Project、Reading、Take Action と多様な言語活動が組み込まれているため、人と関わりながら楽しんで学ぼうとする姿勢をもつ本校生徒にとって、主体的・意欲的に取り組めるような工夫がされている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで使用していたので、生徒が慣れている。コロナの状況を考えると、今回のタイミングで他の教科書会社に変更しないほうがよいと思われるため。

その教科書が適切である理由

3.英語の観点

- ①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。

- | | |
|---|--|
| 1 | ・英文の量が適切で、生徒の興味・関心に即した工夫がされている。 |
| 2 | ・発話されている場面が実際にありそうなので、生徒が意図を理解できる。
・題材が英語を学ぶうえで必要と思われる事項を含んでいる。 |

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連

- | | |
|---|--|
| 1 | ・どこが本文なのか視覚的にわかりやすい。 |
| 2 | ・語順の解説が丁寧であり、語順に苦手意識を持っている生徒が多い本校では適切だと思われる。 |

その教科書が適切である理由	
3.英語の観点	
<p>①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> 各学年ごとに、let's talk! というタイトルの小冊子が入っていて、Speakingの教材として使いやすい。デザインも見やすく、目標が明記されているため、生徒の努力点が可視できる。また、Speakingだけで終わるのではなく、listeningやwritingにもつながるようになっていく。 Lessonのpartごとに、読む・聞く・書くの構成が繰り返されているので、子供たちがわかりやすい。帯活動があるので、対話的な学びにつなげやすい。 平和学習に力を入れている。 帯活動のスピーキング教材には実際に生徒同士がやりとりをしている動画があり、生徒自身がやりとりのイメージをしやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 写真が少なく全体的に見やすい工夫がされていて、生徒が理解しやすくなっていると感じる。また生徒が身近に感じる内容である。
3	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入が、会話の展開で始まる部分が扱いやすそうに感じる。また、その場面設定もタイムリーである。
4	<ul style="list-style-type: none"> ストーリー設定された内容となっており、生徒がイメージを持ちやすく、言語活動につなげやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行や廃プラスチックなど、生徒の実生活に即した内容が扱われていて、自分のこととしてとらえやすい内容となっている。パート1からゴールへと一連の流れの中で学習できるようになっている。
6	<ul style="list-style-type: none"> リスニング問題が充実しており、生徒の聞く力の向上が見込まれる。また、挿絵や写真などが色彩豊かで、内容を容易に理解することができる。さらに、1年生のP.6-25を始め、各単元のあらゆる文章に、表現の幅が広がるようなやりとりが組み込まれているため、Here We Goシリーズが適している。
7	<ul style="list-style-type: none"> ①本文が会話文で構成されているLessonが多く、実際の言語の使用場面等に配慮した題材を取り上げていて、工夫がされている。 ②1年生の教科書の始めでは、短い会話文が多く、生徒が理解しやすいように配慮されている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> Speaking教材が豊富だけでなく、story retellingのためのstepもあり、あらゆる角度から楽しく英語を話す練習ができる可能性を感じられる。 本校生徒の実態として、communicativeな授業が少し苦手なようである。従って、対話的な内容がある教科書が必要で、本書が適切だと考える。
2	<ul style="list-style-type: none"> 本校の生徒の実態には一番近いように感じる。内容や服装(他の教科書はすべて私服に対して唯一制服を着ている)も身近に感じやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒達は、英語を使いたいという気持ちが強いので、各章の活動はやりやすいと思われる。会話の場面設定も面白く、生徒達も楽しく活動できそう。
4	<ul style="list-style-type: none"> 親戚とビデオチャットをするシーンや、メールアドレスを伝え合うシーンなどが扱われており、本校の生徒の興味・関心を引くようなものである。ページ構成がシンプルでわかりやすい。5領域がはっきりしていて、何をするのが明白で取り組みやすい。

その教科書が適切である理由	
3.英語の観点	
<p>①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	・文の書き方、文法が丁寧に解説されている。内容がシンプル。世界の多くの国、地域をテーマに異文化理解の工夫配慮が行われている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・特に3年生の教科書に工夫が感じられる(③) ・見やすく、大事なポイントが分かり易い(①) ・各学年で学習する文法の順番や量が適切で、学習に苦手意識がある生徒も取り扱いやすい(①)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・各Unitのテーマがどの学年においても内容が興味深く、ひきつけられるものがある。 ・身近な話題もあり、親しみを感じる共に、国際理解につながるような内容を多く取り入れられている。 ・社会で実際に行われていることなど新しい情報もあり、これからの生き方を考えるきっかけになる。
4	・part,Unitごとの文法の解説がわかりやすい。
5	・②小学校での学習内容の振り返りができる構成になっており、小学校で学習したアルファベットの書き方も丁寧に復習することができるなど、再確認しながら生徒たちも安心して学べるような配慮がある。
6	・読み物教材の内容が興味深く、生徒の意欲が高まりそうであるため。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・ステップバイステップになっていて、わかりやすいし、教師の裁量で発展させやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・すっきりと見やすい校正がされているので苦手な生徒でも分かり易いと思われる。 ・分量的にも一年間で収められると思われる。 ・1年生、2年生で学ぶ文法事項の量が適切であり、英語(学習)を苦手とする生徒も取り組みやすい
3	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の必要性など、海外のことを学ぶ中で、意識を高める良い機会になる。 ・食文化を通じて異文化理解を深められる。 ・スモールステップで行える内容である。
4	・英文の量や新出単語をくり返し使用させる流れなど、スモールステップで取り組める要素がある。
5	・学習内容が必要最低限にまとめられており、支援を必要とする生徒の多い本校の実態に適している。また、各単元の主要表現(文法)のまとめページは、塾に通っていない生徒への、学習の助けになる。そして、さらに自身の英語力を伸ばしたい生徒や、英語に対して苦手意識のある生徒にも適した、非常に学びやすい教科書であるため、Blue Skyシリーズが適している。
6	・ユニバーサルデザインで、支援が必要な生徒への配慮がある。(具体的には、ページの体裁がシンプルでわかりやすい)鮮やかで目を引くような写真が多く、生徒が興味を持ちやすい。
7	・ページごとに学習内容が明確に設定され、流れがパターン化されており、細かい学習の過程を経て、英語表現を慣れるように身に付けることができる。

その教科書が適切である理由	
3.道徳の観点	
①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。	
②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
③発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・③の観点において、ロールプレイ教材が豊富である。ACTIONというページで劇にしてみようという活動がある。各教材ごとに設問があり、その問いについて話し合うことで考えていく構成になっている。
2	・教材を読みながら、気づきを記入できる欄がある。 ・ホワイトボードシートがついており、協働的な学びに活用できる。 ・資料の内容が様々な考えや意見を導ける内容になっていると感じた。 ・学校生活の中で子供たちが身近にある題材であり、まとめ方も自分の感じ方・考え方を考える構成になっている。 ・考えることのポイントなどが決まりきった答えに導くことなく自然な生徒の考えを引き出すような構成である。
3	・文章の次のページに資料コーナーがあり、より深く教材を考えることができる。 ・サイズが大きくて見やすい。 ・生徒達が「働くこと」「友情」「家族」などの身近なことについて主体的に考え、議論をした際に、生徒が意欲的に道徳を学べる教材である。
4	・とてもイメージしやすく、わかりやすい内容である。また、生徒が様々な角度から考えられるようにアプローチ(活動など)がされている。項目に関しても見やすく見通しが立てやすいように感じる。
5	・ひとつの教材に対して、個での活動やグループでの活動についての取り組みの設定が丁寧にされていた。
6	・読み物教材が充実している。
7	・役割演技を取り入れた学習ページがあり、体験的な学習への配慮が感じられる。「話し合いの手引き」もわかりやすい。学ぶべきことが扉ページなどでわかりやすく示されている。文章に限らず扱いやすい。
8	・目次に項目が書かれており分かりやすい。 ・それぞれの教材の目標や、考えてほしいポイントが分かりやすく書かれている。 ・「考えよう、見つけよう」「アクション」というワークシートが充実しており、考える道筋が示されている。 ・字が大きく見やすい。
9	・教材の題材が多岐にわたっており、幅広い観点から道徳的価値観に迫れる作りとなっている。 ・「いじめ」についてのまとめが充実していて扱いやすい。
10	・イラストを見て考えさせる課題は、生徒の考えや意見を引き出しやすい。
11	・身近な話題を扱う教材が多く、自分事として考えやすい内容だと考える。
12	・1つの事象について友達と意見を交換し、問題解決を図る教材が配置されており、物事を広い視野から多面的・多角的に考える力を育むことができる。 ・各教材に2種類の発問があり、それぞれ自分の考えを深め、他者の考えを知ることができるように工夫されている。
13	・「Action」の課題で、多角的に考えることができる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・写真、図版、イラストなどが教材によって適切に使分けられており、生徒の興味を引きやすい。 ・視点マークで、課題の大枠がイメージできる。
2	・ホワイトボードシートや自分の気持ちを表す心情円など、話し合いに活用できるものが添付されており、クラスの仲間と「関わりながら」学ぶことができる。 ・現代の子どもたちを取り囲む環境や心情に近い内容が多く、また、議論するという内容にも合っている。
3	・文章が読める生徒向け。頭の中で、いろいろ思い浮かべやすい。 ・分量や内容が適切で、生徒の特性や地域に合っている。文章だけでなく、イラストからも「生きる」ことについて考えることができる。
4	・様々なアプローチ・活動に工夫があり、生徒が飽きずに取り組むことができそうである。内容も長すぎず読みやすく、生徒の実態に即したものが多く入っているため、扱いやすいと感じる。
5	・中学生を題材にした読み物を多く扱っていて、実態に即していると感じる。
6	・集団ではなく自分自身をみつめるきっかけになる身近な題材が掲載されている。
7	・考える道筋がクリアーなので、生徒が取り組みやすい。
8	・「タマゴマン」など、親しみやすいキャラクターを利用するなど、考えを深める工夫が随所に見られる。 ・フォントの大きさなど、読みやすい工夫も多くされている。
9	・読み物教材以外に様々な切り口で資料の提示がされているため、生徒の興味をひく。
10	・イラストが最小限に抑えられており、生徒が教材に集中できる。また、物語以外の情報量が多すぎず、話し合い活動に多くの時間を費やすことができる。
11	・携帯トラブルやSNSについての資料が多く取り入れられており、生徒の実態に即している。

その教科書が適切である理由	
3.道徳の観点	
①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出会い交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。 ③発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・①の観点において、他教科や生活場面で生徒が直面するであろう課題が盛り込まれている。「学びの道しるべ」で考えていく構成が示されている。
2	・B5版でサイズ感が良い。文字の大きさが大きめに作られ、UDフォント・カラーにも配慮されている。写真・絵本・歌詞・グラフ・マンガ等多様な形式の教材があり、シンプルでカリキュラムマネジメントがしやすい。内容項目の記載をしていないので、押しつけにならずにすむ。 ・問題解決的な学習が取り入れられていて生徒自身がどうあるべきか考えを深められる点が良い。
3	・内容項目が教材には提示されていないので、自由な発言が生まれやすい教材となっている。 ・題材も多様で、色々な考えを議論するのに適切となっている。
4	・教材の選定がおもしろい。
5	・自己を見つめ、個性を考えた上での集団のあり方を考えさせる題材があった。役割演技を取り入れ、日々の体験を想起して話し合ったりできる内容構成。問題解決的な学習が多く、生徒自身の考えやその根拠を問い、どうすべきかを多面的・多角的に考えを深められる構成になっている。
6	・扱っている題材が多岐にわたっており、生徒にとって親近感を持てるものが多く、自分のこととして考える工夫がされている。
7	・学びのテーマがわかりやすく、ページの最初に書かれている核となるテーマがあるので、目標につなげやすい。
8	・内容項目に沿った発問が明確で使いやすい。また、内容項目を生徒が把握した上で、何を学ぶのか明瞭である。 ・生徒が振り返ることができるワークシートの工夫がよい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・学校生活、生徒指導上扱いたい題材が多く、実態に則している。
2	・本校の教育目標に合ったユニット教材(いじめ・生命の尊さ)が組まれている。短めの教材で、考え議論する時間を担保しやすい印象がある。
3	・読書量の多い本校の生徒にとって、感性を刺激されるような問題提示を含んだ作品が多い。
4	・巻末付録「道徳の学びを記録しよう」「道徳の学びを振り返ろう」により、自分の学びや成長を振り返り、次へと繋がるように工夫されている。身近な生活場面のできごとを題材にした教材が多く掲載されていた。
5	・写真やマンガの使い方など現代の生徒の実状や課題に合っている。(コミュニケーション、SNS、いじめなど)
6	・価値項目「D 主として生命や自然、崇高なもの…」の教材内容が大きすぎずイメージしやすい。
7	・生徒の発達段階に即した内容と文章量で構成されており、生徒にとって内容がわかりやすく、考え、議論する時間が十分に取れるよう配慮されている。 ・タイトルのページに発問が書かれているので、生徒が読む前にどのようなことを学ぶのか理解することができる。

その教科書が適切である理由	
3.道徳の観点	
①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。 ③発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・②の観点において、「考えよう」で問題提起が明確にされており、議論しやすい。コラム「広げよう」で教材に関連した内容が続くので、深い学びにつながりそう。
2	・価値項目ごとではなく、学校生活の流れに沿った内容で学ぶことができる。 ・中学生が読むにあたり、適度な分量で、読みやすい。 ・多面的な見方を引き出す手引きがあるのは、個々の考えを引き出しやすく、話をつなげやすい。学びの記録があり自身の考えを振り返りやすい。
3	イラスト、マンガ、詩など、多様なジャンルが提示されていて、とっつきやすい教材である。
4	・なぜ道徳を学ぶのか、その説明が丁寧にされていて、学習しやすいと感じた。また、年間を通した学習計画が目次をみただけでわかるのはよいと感じた。
5	・③3つのシーズンに分かれていて、生徒の発達段階に合わせて教材を扱うことができる。
6	・自己を見つめて考えを深めていく題材が多く掲載されており、文章教材以外にも考えを深めるポイントが多いと感じられた。単元の内容が明確なため考えやすい。巻末の振り返り用紙が現行のものと同様しているため使いやすかったと感じた。
7	・目次に項目がはっきり書かれているため、どの教材がどういった課題を捉えてほしいかが分かりやすい。 ・「考えよう」や「目標」が分かりやすい表記で、考え議論することにつながる。 ・丁寧な記述で補足説明が充実しているため、十分に理解して自分の意見を出しやすい。 ・シンプルなイラストで想像力豊かに発想できるように感じる。
8	・内容項目のバランス、今・昔の話のバランスが良くとれている。議論する場面も多いと思う。議論を投げかけるところが多い。
9	・教材のおわりには「考えよう」の他に、「見方を変えて」、「つなげよう」という項目がある。それにより別の角度から考えたり、他教科や日常生活との関わりを考えたりすることができる。また、「広げよう」では、人と人との関係づくり、共生、環境、国際理解という4つのテーマに関わるコラムがあり、それらを柔軟に活用することができる。
10	・読み物として魅力的なものが多い。 ・パラリンピックやSDGsなど、時事的、現代的な題材を扱っている。 ・写真や絵、図の情報が充実していて視覚的に生徒の関心を高める工夫がされている。 ・題材の最後に問いが設定されており、考えをさらに深めることができる。
11	・1年の流れに沿った構成で取り組みやすく、学習するテーマが最初に提示されていて指導しやすい。
12	・教材末のてびきには、「つなげよう」が設けられており、日常生活との関連、特別活動との関連などが示されており、学びが授業内にとどまることなく日常生活につながるように配慮されている。 ・教材を通して学んだことを自分に引きつけて考えたり、問題を解決したりするために「話し合う」ことを意図した発問が置かれており、主体的で対話的な活動が期待できる。
13	・読みやすい資料なので、生徒が考えやすい。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	・色使いや字の大きさが適切で見やすい。
2	・教材の内容が年間計画に沿っており、生徒の発達に合わせて、授業がすすめられる。 ・人生の目標など卒業後のことまで考えることができ、使いやすい。 ・テーマが身近であるものが多い。”深めたいむ”もひとりひとりが意見を持てるようなテーマで、議論しやすい。 ・読み物がわかりやすく、コラムも興味をひきやすい。
3	・3学年通じて採用されているヨシタケシンスケさんのマンガが特に優れた作品となっていて、「なんだろう」「どうしたことなんだろう」という哲学的な問いかけがシンプルに浮かんでくる所がすばらしい。 ・文章が苦手な生徒むけ。分かりやすいが深くはない。
4	・文章の多い読み物だけでなく、歌詞やマンガ等から考える構成がされていて、学習の仕方に多様性のある本校の生徒の実態に即していると感じる。
5	・3つのシーズンに分かれていて、生徒の発達段階に合わせて教材を扱うことができる。
6	・紙面構成が、支援が必要な生徒にも見やすい。身近に起こり得そうな題材が多いと感じた。ユニバーサルデザインについて取り上げていて車椅子使用の生徒への思いやりにつながる感じた。教材別テーマ一覧があり、現代的課題との関連が分かる点が適切である。
7	・各教材の狙いがはっきりしている。
8	・教科書全体において、特別支援教育の専門家による校閲を受け、すべての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点にたった編修とデザインを心がけている。
9	・教材文、コラム、付録(補足資料)が充実しており、生徒の実態に応じ厳選して学習することができる。また、教材の冒頭に二次元コードがあり、参考資料などを提示しながら学習を進めることで、考えの幅を広げることができる。
10	・読み物だけでなく、人の生き方や時事的・現代的・世界的な問題にふみこんだ題材が多くあり、グループ活動などで積極的に考えを深める本校の生徒に適している。
11	・教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる絵・写真が適所に配されている。また、写真や図表・グラフを必要な箇所に付し、本文の理解を助けるよう工夫されている。 ・昨年度から扱っている教科書なので、生徒にとって馴染みがあり、使いやすい。
12	・これまで使用していたので、生徒が慣れている。コロナの状況を考えると、今回のタイミングで他の教科書会社に変更しないほうがよいと思われるため。

その教科書が適切である理由	
3.道徳の観点	
①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。 ③発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ①の観点において、一つのテーマに関連する教材が複数入っていて、「ユニット」学習で学びを主体的に捉えられるように工夫している。また③の観点において、感情のコントロールの仕方等が実践できるように具体的に示されている。 「問題解決的な学習」「体験的な学習」に適した教材があり、学習の進め方をサポートする参考例が揃っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 最新の題材が多く、子供たちが興味・関心をもちやすい。また、最後のまとめのところのワークシートなども使いやすく、最終的に多面的・多角的に考えやすい内容構成になっている。 「7. 命のトランジットピザ」、「8. エリカ、27本のペンで世界を考えよう」などは、社会科との関わりが深く、より興味関心を持ち主体的に考えることができる。3つのステップで授業が進めやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 「ブラットホーム」というコラムの内容が充実していてよいと感じた。
4	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を取り入れるための工夫がなされている。付属の道徳ノートで話し合いや振り返りが行いやすい。マンガの題材もあり、生徒が身近に感じやすい。題材が明確で話し合いのポイントがわかりやすい。考え方が偏らず、いろいろな見方や考え方ができる。紙面構成がわかりやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> イラストが鮮やかで目を引く。 活動に関する記述が多く、活動を通して多角的に物事を考えることができるように感じる。 道徳ノートの使い勝手がよさそう。 コラムが多彩。
6	<ul style="list-style-type: none"> 別冊で使用できるノートが付いていて、議論を行う際に活用でき、そのノートを通して年間の成長を振り返ることができる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 課題の設定が教師側でしやすい。 ワークシートがついていて1年間の振り返りがしやすい。
8	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活に沿った題材の取り上げ方がよく、親しみをもって授業に取り組みやすい教材が多い。
9	<ul style="list-style-type: none"> 物語だけではなく、考えや視野を広げるコラムが掲載されており、生徒から多様な考えを引き出すことができる。また、発問にも発展と基礎があり、考えを深めることができる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げられている人物や地域があまり身近でない。 イラストに親しみやすさがある。ただ、横書きと縦書きが混ざっていて見にくい。 別冊のノートに題材ごとに記録を残すことができる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に見られる題材もあり、1つの観点だけでなく様々な角度から見られる題材もあるので、本校で大事にしている協働学習などの話し合いを中心に行うことができる。 平和学習を1、2年と積み重ねてきたため、人権や平和に関するテーマの教材が本校生徒にとって親和性が高い。
3	<ul style="list-style-type: none"> 内容を理解することで精一杯になる生徒もいる現状があるため、多方面のジャンルから題材を掲載している。心に響く内容であった。
4	<ul style="list-style-type: none"> コラムが多彩なので生徒の興味を引き付ける。道徳ノートが生徒一人ひとりの考えを深める手助けになる。
5	<ul style="list-style-type: none"> 別冊のノートがあるため、年間の成長を振り返ることができる。
6	<ul style="list-style-type: none"> 道徳ノートが使いやすい。生徒が自分の考えや相手の意見を書き込むことができる。

その教科書が適切である理由	
3.道徳の観点	
①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。 ③発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・②の観点において、考えよう→話し合おうの流れが明確にされており、学習活動に取り組みやすい。特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」で多様な学びへと展開する工夫がされている。 ・異なる複数の意見の提示により、多様な視点で展開できるようになっている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・従来よりある教材や最近のスポーツ選手を取り上げた教材まで、話題が多岐にわたっている。 ・文章に関連した資料、写真が豊富で、内容が頭に入りやすい。 ・文章を読んだ後に、自分に置き換えて考えるワークがあり、実践的。文字と写真などのバランスもよく、多面的な視点がある。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたり、議論したりするのに適切な教材が多く、多角的にものごとを見ることのできるものが多くとりあげられている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に作り込まれている。課題が明示されていて取り扱いやすい。生徒の視点にしっかりと立っている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・①教材の多くに葛藤場面があり、生徒が考えやすい教材になっていると思われる。 ・②葛藤場面があるので、様々な考え方ができる。そのためいろいろな考え方が生まれ、多面的・多角的に議論が出来ると思われる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面の構成が見やすい。視覚的に配慮されていると感じる。扱う題材は様々な角度から考えを深めることができる構成になっている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ジレンマを感じる教材が多く、議論が広がりやすい。多様な見方で考えを引き出せる。毎時間に色々な議論で盛り上がりそう。異なる複数意見を提示して、多様な意見に触れながら自分の考えを深めることができる。多様な価値観からそれぞれの生き方を知り、それを自己の生き方につなげられるように、学習の進め方が提示されている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の長さがちょうどよい。 ・単元の最初に内容項目について書いていないので、生徒が考えを深められる。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の前に主題名を表示しないことにより、特定の価値観を押し付けることなく、生徒が主体的に学びを深めることができるよう配慮がされている。 ・「深めよう」のページでは、学びを深める4つのステップに沿った道徳の学びが具体的に提案されている。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的資料が多く、文章を読むことが苦手な生徒も前向きに取り組むことができる。 ・ただ読むだけでなく、より多角的に物事や考えを自分の言葉で表現できる。 ・生徒が考えたことを自分の言葉で表現しやすい。 ・文章が長いと集中が途切れてしまう生徒にとって取り組みやすいワークや図がある。 ・さまざまなテーマで学ぶことができ、生徒も多角的にとらえることができる。テーマやそこで考える内容を自分におとして考えることができる。教科の内容も入り興味をひきやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・授業展開の手法が本校の研究様式と合致している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットでのトラブルや教室での人間関係などを扱った読み物が多く、生徒にとって身近な教材であると言える。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解することで精一杯になる生徒もいる現状があるため、多方面のジャンルから題材を掲載している。心に響く内容であった。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に主題名が書かれていないことで、特定の価値観にとらわれず、考え議論する道徳として、手法も生徒にとってわかりやすく、多面的・多角的な考えが広がりやすい。観点のバランスも良く、前期後期で分けても偏りなく考えを深めることができる。文章構成もわかりやすく、丁寧。ユニバーサルデザインがなされていてよい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がよく知っている人物を扱ったり、生徒にとって身近なテーマ設定がされている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が親近感を持てる挿絵や写真が多く、文章も見やすく読んでいて負担にならない長さである。

その教科書が適切である理由

3.道徳の観点

- ①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。
- ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。
- ③発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。

1	・①「学習への手がかり」で考えることが明確化されている。また②の観点において、「学習の手がかり」について何を考え、話し合うのかが明確に示されている。
2	・「～してみよう」から、考え・議論する機会の設定場面が多くある。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連

- 1 ・自ら考えられるような内容(主に葛藤教材)の読み物教材が充実している。

その教科書が適切である理由	
3.道徳の観点	
①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。 ③発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・①の観点において、教材→考えるポイントという構成できており、毎回の授業で何をするか生徒自身わかりやすい。 ・教材の終わりにある問いかけで、その教材で考えることが明確に示されている。 ・構成、内容、考える視点がわかりやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会情勢や話題に沿ったテーマの教材が多く、考えさせ議論する道徳の授業がイメージしやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・少々文字が多いが、インパクトのある題材を扱っており、生徒の興味関心を引きやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の成長を感じられる構成になっている。 ・単元の最初に内容項目について書いていないので、生徒が考えを深められる。

4.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・構成がシンプルで、わかりやすく、迷いが生じない。 ・題材、読みやすさが合っていると思った。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の世情に合ったテーマが多く扱われており、生徒が興味を持って取り組むことができる。